

我孫子市子どもの読書活動推進計画

～我孫子市で育つすべての子どものために～



オリジナル装丁画：大社 玲子

平成31年3月

我孫子市

目次

| | |
|------|---|
| はじめに | 1 |
|------|---|

第1章 策定にあたって

| | |
|-----------|---|
| 1 策定の目的 | 3 |
| 2 計画の位置づけ | 3 |
| 3 計画の期間 | 4 |
| 4 計画の対象 | 4 |
| 5 基本方針 | 4 |

第2章 子どもの読書活動推進のための方策

| | |
|--------------------------|----|
| 1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進 | 6 |
| 2 市民図書館における子どもの読書活動の推進 | 10 |
| 3 学校における子どもの読書活動の推進 | |
| (1) 小学校・中学校 | 26 |
| (2) 高等学校 | 35 |
| 4 幼稚園・保育園における子どもの読書活動の推進 | 36 |

第3章 計画の推進にあたって

【資料】

- ・子どもの読書活動におけるアンケート調査集計結果
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律
- ・我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要領
- ・我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員名簿
- ・我孫子市民図書館資料収集方針

はじめに

人は、言葉を覚え、話し、学習し、コミュニケーションをとり、自分で考え、行動し、人生を豊かにし、生きていきます。そのすべての過程において読書には大きな役割があります。読書は、感性を磨き、表現力を養い、創造力を育む、それだけでなく、知りたいことを調べる楽しさを知り、生きる喜びを味わえます。また、自分にとって大切な情報は何かという取捨選択をする場合のよりどころにもなります。

昨今、テレビやインターネット、携帯電話やスマートフォンなどからの多様かつ大量の情報が簡単に入手できるようになり、子どもの生活環境は大きく変化しました。このような社会を生き抜く力が現代の子どもたちには必要になります。

そのような社会の中で、読書活動は、子どもがたくましく生きる力を身につけ、あふれる情報の有益な活用方法を学ぶために、欠くことができない大切な活動です。

我孫子市では、これまでも、年齢別おはなし会の開催、保健センターでの乳児と保護者への読み聞かせ事業、小学校の学級単位への団体貸出サービス（学級文庫事業）、小・中学校内や地域でのボランティアによる読み聞かせに関わる会議の開催、市民図書館と学校図書館との連携など、子どもの読書活動の推進・読書環境の整備に取り組んできました。

今後は、子どもを取り巻く社会情勢の大きな変化を見据えて、幼いころからの読書習慣が、本を読むだけでは終わらない読書活動となり、「自分で考えて

自分で解決できる」人生へと結びつく取り組みになることを目指していきま
す。

幸いにも我孫子市は、大正・昭和にかけて白樺派の文人達が別荘を構え、作
家活動を行った場所でもあり、その代表である志賀直哉氏は我孫子の地で代表
作「和解」等を執筆しました。最近では、国際アンデルセン賞作家賞を受賞さ
れた上橋菜穂子さんや、日本ファンタジーノベル大賞や三島由紀夫賞を受賞さ
れた古谷田奈月さんも手賀沼湖畔で構想を練って執筆活動を続けてこられたと
聞いています。

また、作家の故古登正子さんの寄付により始まった「めるへん文庫」事業は
今年で第17回を数え、市内の小中学校・高校生ばかりでなく広い地域から作
品が寄せられています。近い将来、「めるへん文庫」に応募した子どもたちの
中から作家が誕生することを期待しています。

市内の小学校では全校生徒による俳句活動を通じて感性を養い、多くの賞を
獲得している学校もあります。

このような取り組みを継続することで、読書活動が書くこと・創造するこ
と・自己を表現する力の育成へとつながっていくことを強く願っています。

本市で育つすべての子どもが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書
活動ができるように環境を整え、これまでの取り組みを踏まえて、読書活動推
進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、さらに充実させる上での指針と
なる「我孫子市子どもの読書活動推進計画」を策定します。

我孫子市教育委員会

教育長 倉部 俊治



策定にあたって

1 策定の目的

我孫子市の現状と課題を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、図書館、学校、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動を推進することにより、子どもが心豊かに成長し、自ら考え、課題解決でき、自立した人生を送る手助けになることを目的とします。

2 計画の位置づけ

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、国の「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び「千葉県子どもの読書活動推進計画（第三次）」を基本とします。また、「我孫子市第三次総合計画」、「我孫子市教育大綱」に即し、「我孫子市教育振興基本計画」、「我孫子市第三次生涯学習推進計画」などとの整合を図り、本市における子どもの読書活動の推進に関する取り組みや方向性を示す計画として位置づけます。

3 計画の期間

平成31（2019）年度から2023年度までの5年間とします。

4 計画の対象

0歳から18歳までの子ども及び読み聞かせ等子どもの読書活動に関わるすべての大人を対象とした計画です。

5 基本方針

本市で育つすべての子どもが、読書の楽しさを知り、自ら考え、課題解決できる自立した人間に成長し、豊かな人生が送れるよう、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動ができる環境を整え、市民図書館、学校及び関係機関などが連携し、子どもの読書活動推進に努めます。

そのために次の4点を基本方針として取り組みます。

（1）子どもの自主的な読書活動を支える読書環境の整備・充実

子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ、読書体験を深められるような機会を提供するとともに、そのための環境作りに努め、子どもが読書に関心を持てるような本を身近に備えることが必要です。そのため、施設・設備その他の諸条件の整備・充実に努めます。

(2) 家庭・地域との連携・協力による読書に親しむ機会の充実

子どもにとって最も身近な家庭・地域と市が連携・協力していくことは、子どもの自主的な読書活動を広め、読書に親しむ機会を充実していく上で、欠くことができません。そのため、子どもに係わるすべての大人が子どもにとっての読書の大切さについての理解を深め、導けるように家庭や地域、学校、市民図書館、関係機関、関係団体などが相互に連携・協力できるよう努めます。

(3) 学校図書館における自主的な読書活動支援体制の整備

子どもが一番長い時間を過ごす学校は、読書の喜びを知り、調べることの重要さを学ぶ大切な場です。そのために学校図書館を充実させ活用していくことが不可欠です。さらに学校図書館の積極的な整備とネットワークの充実を軸に、市民図書館と学校が連携・協力をしていきます。

(4) 子どもの読書活動に関する社会啓発や広報の推進

子どもの読書の大切さや意義について、対象となる子どものみではなく、関わる大人も含めた市民の理解と関心を深めるため、広く普及・啓発するよう努めます。





第2章 子どもの読書活動推進のための方策

1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

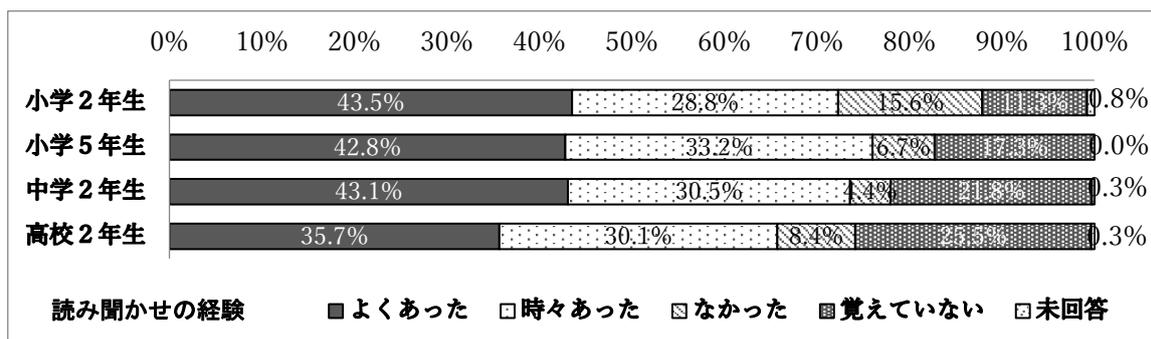
この章では、「家庭」においては、その「個人」「家族」の読書活動について、「地域」においては家庭、学校、図書館を除く「団体」「施設」の読書活動について述べていきます。

ア 家庭における読書環境の充実

現状と課題

昨今の子どもの家庭環境は、生活様式が多様化しているため、就学前の子どもを図書館に連れて行くことや、絵本の読み聞かせをする時間が取れない保護者が増えていると考えられます。

アンケート調査*1結果によると、当市の子どもの約7割は就学前に保護者からの読み聞かせを経験しています。また、9割を超える保護者が子どもにもっと本を読んでほしいと感じていました。その一方で1か月に1度も図書館を利用しなかった保護者の回答は、約6割を超えています。読み聞かせをしたり、子どもに本を読ませたいという親の思いはあっても、実際には図書館に来館する機会が少ない家庭が多いことがわかりました。



また、全国的に書店が減少傾向にあります。書店が姿を消す原因としては、一般的に、人口減や活字離れ、雑誌の市場規模縮小やインターネットでの購入の増加などがあげられます。我孫子市でも、駅に近い、大型スーパーの中には書店がありますが、以前は地域に点在していた、いわゆる「町の書店」は減っています。小学生等が本を買いたいと思いついたときに、「自宅から徒歩で行ける範囲に書店がない」という地域があるのが現状です。書店の減少は、子どもや保護者が児童書に触れたり、直接手に取り購入して家庭で読んだりする選択肢が減ることにつながります。

書店が減少した現在、それぞれの家庭で、図書館利用の機会を増やし、子どもたちが直接本と触れ合うことが重要となります。

一方、テレビやインターネット、雑誌などに子どもの本に関する情報が氾濫し、親が「実際に子どもにどんな本を与えればよいかわからない」と迷っている声も聞かれます。このため、子どもの本の選び方に関する講座・講演会や適切な情報提供も必要です。

施策の方向

昨今の家庭環境の状況から考えると、利用者を劇的に増やすことは難しいと思われませんが、移動図書館を活用して、今まで市民図書館が利用できなかった層でも足を運べるような巡回時間や場所を検討し、本にふれる機会を増やしていきます。

家庭における読書環境を充実させるためには、子どもに関わる大人へ読書や読み聞かせの重要性について理解してもらう必要があります。図書館は、子どもの本の選び方に関する講座・講演会などの行事や情報提供を行っていきます。

イ 子どもを取り巻く地域における読書環境の充実

現状と課題

現在、市民図書館に「団体貸出」の登録をし、主に児童書を使って絵本の読み聞かせ等の地域活動をしている市民団体は10団体以上あります。その他に子どもに関わる地域の施設や団体として、社会福祉協議会、まちづくり協議会、児童通所支援事業所、近隣センター、学童保育室などがあります。これらの施設や団体から、「絵本の読み聞かせに適した本はどのようなものか」「読み聞かせの方法を知りたい」といった声が市民図書館には多く寄せられています。

市民図書館は市内4か所にある「子育て支援センター」へ出向き、おはなし会や出前講座を行い、「あびっ子ネット」*2や市のホームページなどでPRも行うなど、今までも相談や研修依頼、情報提供に応じてきましたが、さらに充実させていく必要があります。

特にPRについては、忙しい子育て世代が目にしやすい方法を考察することが必要です。

施策の方向

地域活動をしている市民や団体向けに、読み聞かせの方法や本の選び方、読書の意義といった講座・講演会を実施します。

また、市民図書館と他部署が連携して行う事業を推進します。例えば、子ども部や公民館との事業の共催等を検討していきます。

市民図書館や子どもの読書に関する催しのPR方法は、従来型の広報紙掲載だけでなく、SNS*3を活用した周知方法も取り入れていきます。

- *1 アンケート調査…平成 29 年度に市民図書館が行った。市内の小学 2 年生・5 年生、
中学 2 年生、高校 2 年生及び市内保育園の 4 歳児クラス、小学 2 年生・5 年生、中学 2
年生の保護者が対象。
- *2 あびっ子ネット…市の子ども向け情報紙。年 5 回発行。専用ホームページでは、掲載
しきれなかった情報も公開している。
- *3 SNS…ソーシャルネットワーキングサービス。ウェブのしくみを使い、インターネ
ット上のコミュニケーションを促進する登録制のサービス。



2 市民図書館における子どもの読書活動の推進

ア 図書館資料の整備・充実

現状と課題

子どもの読書活動に必要な資料提供を進めるためには、図書館資料の充実が重要です。

図書館における児童書の蔵書構成は、①基本図書（読み継がれている優れた図書）、②準基本図書（将来基本図書に入ると思われる図書）、③最新図書（最新の作品で、ある分野に興味を持つ子どものために備える図書）という三層構造*1です。市民図書館では、これを基本とし、子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことができる図書を、図書館司書が経験を活かして長期的・専門的視点から選定しています。長年読み継がれてきた「基本図書」を継続的に提供できるよう買い替えを進め、新刊を購入する場合は、図書館に所蔵すべきものであるかを作品ごとに評価しています。

また、活字資料を利用することに障がいのある子ども*2も絵本や物語などに親しめるよう、点字絵本・デージー録音図書*3・布の絵本・大活字本・Lブック*4などの資料を提供していく必要があります。

外国語を母語とする子どものための図書の充実を図ることも大切です。

読み聞かせボランティアなどの団体利用登録者向けには、引き続き大型絵本*5を提供していく必要があります。

電子図書は、デジタルコンテンツ*6に対して抵抗の少ない若い世代が、読書に親しむツールとして期待されますが、導入に当たっては、児童書の出版点数と内容、電子機器が子どもに及ぼす影響、貸出に際しての出版社の契約条件、図書館の財源確保など、様々な視点からの慎重な検討が必要です。

施策の方向

「我孫子市民図書館資料収集方針」に基づき、資料を評価し、蔵書として受け入れるかどうかの選択をすることにより、蔵書の質と新鮮さを維持していきます。さらに、基本図書を継続的に提供できるよう予算の確保に努めます。

また、障がいのある子どもや外国語を母語とする子どものための資料を充実させるとともに、その家族や支援者に対しても、利用のためのPRをしていきます。

電子図書等のデジタルコンテンツの活用については、情報収集や研修参加を積極的に行い、導入の見極めをしていきます。



イ 市民図書館における児童コーナーの充実

現状と課題

市民図書館では、分館も含め、児童コーナーを設置しています。選ばれた資料を、子どもに分かりやすく分類し、整理し、配列し、サインにも工夫をしています。また、館内検索コンピュータでは、子ども向けの画面で検索ができます。毎月の特集コーナーや、「読み聞かせにおすすめする本」のコーナー、靴を脱いで本を読めるコーナーなどもあります。

子どもに安全で使いやすく、清潔感を持ったコーナーを保つために、壊れたり汚れたりした書架や床などを、適宜、修繕する必要があります。

施策の方向

児童コーナーは、読書場として落ち着いて過ごせ、温かみがある雰囲気づくりに努めます。また、肝心の本が目立たなくならないよう、本の世界とつながる展示を工夫し、飾り立て過ぎないように心掛けます。

また、子どもが気兼ねなく入ることができ、居心地のよい静けさと親しみやすさを兼ね備えた空間にするために、サインや掲示物、各コーナーなどを適宜見直していきます。

冷暖房や換気にも配慮し、照明にも気を配ります。

ウ 図書館司書の配置と資質向上

現状と課題

市民図書館では、各図書館に司書を配置しています。その中で、子どもへのサービスについては、子どもと、子どもの本と、子どもの住む地域や取り巻く環境・社会に精通した児童図書館員が担い、読書相談に応じるなど、子どもの読書活動を推進しています。また、専門的な知識を習得するために研修に参加する、自己研鑽に励むなど、資質の向上に努めています。

児童図書館員を養成するためには、長期的な視野に立ち、計画的に司書を配置していく必要があります。また司書の資質向上のため、配置後も継続して、専門的かつ時代を見据えた研修等を行っていく必要があります。

施策の方向

全館に児童図書館員を配置し、児童サービスを行う上での理念・知識・技術を市民に接しながら学び、図書館内外の研修参加に努め、質の高いサービスを継続的・安定的に提供していきます。



エ ティーンズサービス*7の充実

現状と課題

市民図書館では、中・高校生に対し、生きる力や未来への指針を与え、自己を大切にし、他人を理解し、思いやり、自分と違う特性を持つ人と共に生きることを学び、感動や共感を得られるような資料をそろえています。

日常生活や学習、進路・職業選択に必要な図書・雑誌などを収集し、コーナーを設置しています。評価の定まったものを中心に収集していますが、「読書離れ」の世代であることを考慮し、気楽に読みきることができるものも収集の範囲としています。

また、『Step-中学生におすすめする本』を発行し、中学生にお薦めの読み物を紹介しています。

平成30年度『我孫子市の図書館』によると、中高生（13歳～18歳）の年間の貸出利用者数は小学生（7歳～12歳）の約40%となっています。このことから、中高生により本に親しんでもらうため魅力あるサービスに取り組む必要があります。

施策の方向

図書館職員が学校図書館に講師として出向いたり、中高生の来館による図書館オリエンテーションを開催したり、中高生向けのコーナーづくりへ参画してもらうなど、中学校・高校と連携した読書活動を推進していきます。

オ おはなし会

現状と課題

市民図書館では、0歳から3歳くらいの子どもとその保護者を対象とした「親子で楽しむおはなし会」、4歳から9歳くらいの子どもを対象とした「おはなし会」、移動図書館そよかぜ号のステーションにおける巡回時間を利用した野外のおはなし会「そよかぜおはなしタイム」などの各種おはなし会を実施しています。

「おはなし会」では、絵本の読み聞かせや素話*8（ストーリーテリング）を通して、子どもと職員がその世界を共有しながら楽しむことができ、子どもを読書へ導きます。子どもが伸びやかに生きていくための知恵や想像力・聞く力・集中する力を育てることはもとより、図書館職員が直接子どもに絵本を読み聞かせ、素話を語ることで、その反応から子どもを知り、子どもがどう聞いたかを確認し、選書に活かす大切な「職員研修の場」でもあります。

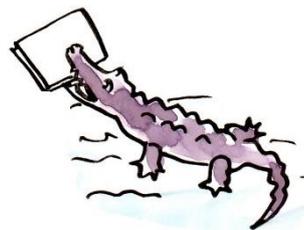
現在、「おはなし会」や「親子で楽しむおはなし会」の参加者数は減少傾向にあるため、参加しやすい環境を整備する必要があります。また、出産を控えた母親等にも、乳幼児に「わらべうた」や「絵本の読み聞かせ」をする大切さを啓発していく必要があります。



施策の方向

参加しやすい開催日時を工夫したり開催日時を検討するなどして、多くの子どもが来館できるようにしていきます。また、保護者におはなし会の意義を啓発・周知することにより、子どもの参加を促します。

「親子で楽しむおはなし会」は、出産を控えた家族も参加できるように働きかけます。



♪親子で楽しむおはなし会♪♪



～そよかぜおはなしタイム～

カ 離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ

現状と課題

子どもへの読み聞かせの原点は家族にあると言われています。幼いころから大人と一緒に絵本を楽しんだ至福の経験をもつ子どもは、大人への信頼を育み、また、生涯に渡って本が生活の一部となります。

保健センターでの離乳食教室において、健康づくり支援課と連携し、4～6ヶ月の乳児と保護者を対象に、図書館の市民スタッフが、図書館の紹介・赤ちゃん絵本の読み聞かせ・ブックリストの配布などをブックスタート*9の代替として実施しています。ここで配布した「利用カード・仮パスワード交付等申請書」に記入のうえ持参し、図書館で利用登録をした方には、特製のしおりを渡し、家庭での読み聞かせ習慣につなげています。

施策の方向

離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせを含む「乳幼児サービス」事業を継続的に行い、子ども本人はもとより、読み聞かせをする保護者等身近な大人を対象に含め、子どもの読書に関する相談支援を行います。



♪離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ♪

キ 講演会等の開催

現状と課題

児童書に関連する大人向けの講演会を適宜開催して、子どもの読書活動の推進に努めています。

毎年夏休みには、小中学生を対象とした「子どものための科学実験講座」を開催しています。自由研究などに役立ててもらうとともに、講座の中で科学関連の図書も紹介することで、科学に対する興味や、科学読み物などの読書へとつながるよう努めています。

しかし、子どもが減少しているなか、同時期に市役所各課や民間企業、団体なども子ども向けの行事を開催するため、連携を図ったり、内容の差別化や募集方法の工夫をしたりすることが必要となってきています。

施策の方向

普遍的な内容や時代のニーズに合わせた内容などを選択しながら、子どもと読書に関する講演会等を適宜行います。



講演会の様子



ク 市民スタッフ（読書普及担当）との協働

現状と課題

市民図書館で研修を受けた我孫子市民図書館市民スタッフ*10（読書普及担当）と協働で、「おはなし会（布佐分館）」「そよかぜおはなしタイム」「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」「学校図書館整備事業」などを実施しています。

市民に図書館活動に参画してもらうことで、読書を普及させることの大切さや図書館への理解をさらに深めてもらい、より市民の視点を持った効果的な事業展開が期待できます。

市民スタッフと市民図書館が方針及び方向性を共有できるように、図書館担当者は、研修、相談、調整などを今後も日常的に行っていく必要があります。

施策の方向

市民スタッフは、おもに市民図書館のアウトリーチ・サービス*11を支え、地域と図書館を繋げていく重要な存在となっています。委嘱期間中はもとより、修了後も自主的な地域活動に生かせるよう活動の相談や支援を行うとともに、定期的に「修了生フォローアップ研修」を開催し、つながりを持っていきます。

ケ 学校との連携

現状と課題

市内小中学校、高等学校、指導課、学校教育課と連携して、学級文庫の貸出、調べ学習のための図書の貸出、学校図書室整備支援、図書館職員の講師派遣、情報の共有など、子どもの読書活動の推進に努めています。

学校間の図書の相互貸借や情報収集のためには、コンピュータのネットワーク化や配送手段を整備する必要があります。また、学校との連携を円滑に行なうための「学校図書館支援センター」*12の機能と役割の確立が望まれます。

施策の方向

学校図書館の活用推進がスムーズに進行するようにバックアップしていきます。児童生徒の読書に関する情報の共有や共催事業、研修会、学校図書館運営に対する支援・相談など必要に応じて行っていきます。その要となる「学校図書館支援センター」については、関係各課が協力をして機能と役割の確立を目指します。

♪市内中学校図書室♪



コ 関係機関との連携

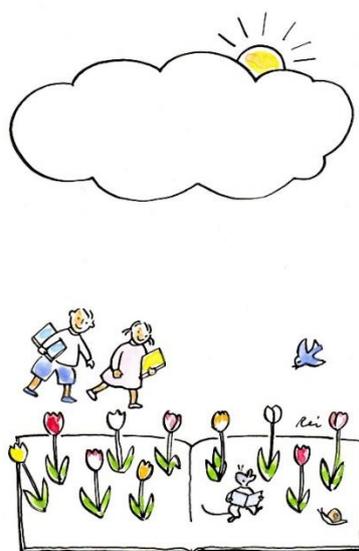
現状と課題

市民図書館では、県立図書館及び県内市町村立図書館、国際子ども図書館などと連携して、図書の相互貸借、情報の共有等、子どもの読書活動の推進に努めています。行政機関や子どもの読書活動に関する団体・施設への研修参加や講師派遣、情報の共有なども行っています。

今後も関係機関の情報収集に努め、依頼には迅速に対処し、情報提供等の協力を行なうことが重要です。

施策の方向

関係機関との連絡を密にして、子どもの読書についての情報収集と連携強化に努めていきます。



サ 子ども読書の日及び文字・活字文化の日等における啓発

現状と課題

市民図書館では、4月23日「子ども読書の日」及び10月27日「文字・活字文化の日」にちなんだ、「本を読んでおりがみまめ本をもらおう!」「よむよむラリー」などのイベントや子ども向け新聞「たんた新聞」の発行など、事業を実施しています。

施策の方向

引き続き、子ども読書の日及び文字活字文化の日にちなんだイベントを実施し、読書への関心拡大に努めます。



シ 年齢別ブックリスト、子ども向け新聞等による啓発

現状と課題

市民図書館では、年齢別ブックリスト『あかちゃんと楽しむえほん』『じどうとしょかんいんがえらんだえほん99+1』『ブック・SELECTION（1・2ねんせいよう、3・4年生用、5・6年生用）』『Step（中学生におすすめする本）』を作成し、赤ちゃんから中学生まで切れ目なく、図書館で薦める図書を紹介しています。

また、児童書の紹介記事等を掲載した「たんた新聞」を発行しています。特に、子どもに好きな図書を紹介してもらったコーナー「この本だいすき！」は好評を博しています。賞を取ったり話題になったりした作家や作品の紹介をタイムリーに載せるなどの工夫も行っています。

「読書ノート（子ども用）」は、自分が読んだ図書を記録することができるようにカウンターで随時配布しています。

施策の方向

長きにわたって子どもに読み継がれた「基本図書」を中心に、「生きる力、生きていく知恵」を兼ね備えた本を選び抜き、乳児から中・高校生までの発達段階に合わせて切れ目なく紹介していくブックリストを、時代のニー

ズもくみ取りながら適宜、更新していきます。また、「絶版」であっても、所蔵冊数が多くある良書は掲載していくなどの工夫をします。

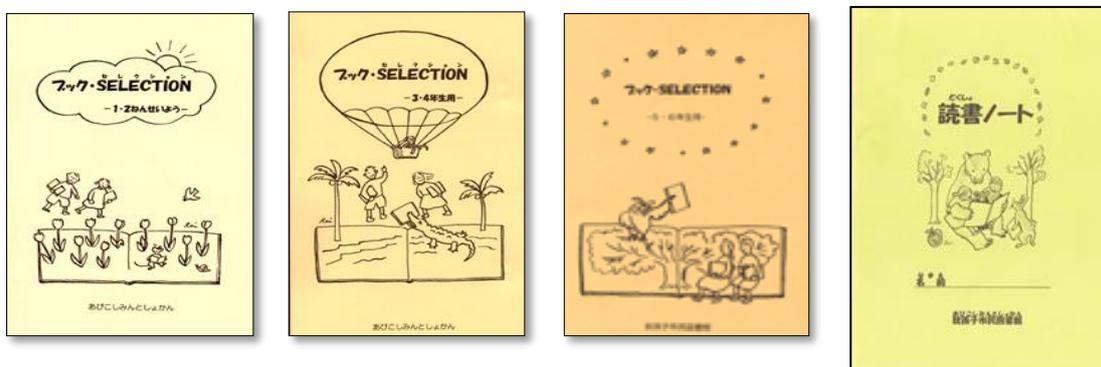
ス 情報の提供

現状と課題

子どもや子どもの本に関する行事や講座・講演会は、図書館ホームページや広報あびこなどに掲載し、ポスター掲示やチラシの配布でもお知らせしています。また、より多くの市民に情報を提供するために様々な手法が必要です。

施策の方向

子どもの読書に関する情報を市のツイッターやフェイスブックなどを十分に活用し、子どもや保護者・子どもに携わる大人に対し、積極的に情報提供していきます。



- *1 引用文献 日本図書館協会編『児童図書館サービス 2 児童資料・資料組織論』
日本図書館協会, 2011, p8-9
- *2 活字資料を利用することに障がいのある…視覚・肢体・学習・知的障がい、いわゆる「寝たきり」の状態など。
- *3 デイジー録音図書… 一般資料や点字資料などを音声化してD A I S Y (Digital Accessible Information System) 仕様で利用する録音資料。主に視覚・肢体・学習・知的障がい者が利用。
- *4 LLブック… 一般の書籍や新聞などを正確に読むことが困難な人を対象にやさしく読めるように書かれた本。知的・学習・認知障がい者や日本語を母語としていない人など、十分な学習を受けられなかった人などが利用。
- *5 大型絵本 … 一般流通している絵本を、50～100人程度の読み聞かせに使用できるよう大型化したもの。価格も1万円前後と通常絵本より高額になる。
- *6 デジタルコンテンツ…デジタル化された情報（デジタルデータ）で構成されたものの総称
- *7 ティーンズサービス…「ヤングアダルトサービス（YAサービス）」。おおむね12歳から18歳までの青年期利用者に対して公共図書館が行うサービス。我孫子市民図書館では、YAサービスの名称を「ティーンズサービス」としている。
- *8 素話…昔話や創作の物語を覚えて語ること
- *9 ブックスタート…0歳児健診などの参加者に「絵本」を手渡し、読み聞かせの楽しさを伝える活動。自治体の事業として全国に広がっている。
- *10 市民スタッフ…「我孫子市市民スタッフに関する要綱」に基づき図書館が採用する有償ボランティア
- *11 アウトリーチ・サービス…図書館サービスの圏域内であるにもかかわらず、これまでの図書館サービスが及ばなかった住民に対して行うサービス。
- *12 学校図書館支援センター…詳細は26ページを参照。



3 学校における子どもの読書活動の推進

(1) 小学校・中学校

市内の子どもの大多数が通う市立小中学校において、公平に効率よく学校図書館を運営していくことは、読書活動の推進を図るために欠かせません。

各学校に設置された学校図書館は、文部科学省「学校図書館ガイドライン」（平成28年11月29日）によると、児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導の場である「読書センター」としての機能、児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」としての機能、児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする「情報センター」としての機能を有しています。

この3つの機能が働いて、図書館資料が動く「生きた」学校図書館となって、児童生徒の生活を豊かに彩るよう、学校図書館を充実させていきます。

これまで学校図書館についての業務が市教育委員会の中で分散して、中心となる担当課や担当者がおらず、整備すべき事柄に手を付けられないまま今日まで至ってきました。

「学校図書館支援センター」を設立し、市民図書館、指導課、学校教育課、教育委員会総務課が協力して、学校図書館に関する様々な施策を担い、学校図書館の3つの機能の充実を図って児童生徒及び教職員の学校図書館活用を推進します。

ア 読書習慣の確立・読書指導の充実

現状と課題

学校では、読書習慣の確立のために、朝の学習の時間、国語科等の教科の時間、休み時間などを活用して読書活動を推進しています。図書委員会も活発に活動しています。全体の傾向としては、小学校高学年から中学校にかけて読書量の低下が見られます。

これまで、学校図書館は「読書センター」としての読書指導を重点的に行ってきましたが、「学習センター」、「情報センター」としての読書指導は十分ではありませんでした。

学校司書*1の勤務日数が少ないため、教育活動への協力が難しく、授業に使用する適切な図書を十分に用意できないこともあります。

また、各教科の各単元における調べ学習に適切な図書やサイトの一覧がない場合が多く、児童生徒が求める適切な情報にたどり着けない場合もあります。

施策の方向

学校には、平成15年度に図書館と教育委員会関係課で設置した連絡会議や研修会を通して効果的な読書活動を紹介し、様々な図書に触れる機会の確保を呼びかけます。また、国語科に限らず様々な教科や領域を通じて、学校図書館の利活用を図り、特に小学校高学年から中学校にかけての児童生徒の読書量を増やします。

「学習センター」として、学校図書館を授業で活用したり、児童生徒が学校図書館で自ら学んだりする体制を整えます。また、「情報センター」として、情報活用能力育成の授業を行います。

学校司書が、学習課題に適した図書館資料の準備や紹介、教員の授業づくりや教材準備に関する支援や資料相談への対応など、直接的・間接的な支援を行えるようにします。また、学校司書がとりまとめを担うことで、効果的かつ効率的に他校や市民図書館の蔵書の検索や相互貸借を行えるようにします。

学校図書館支援センターが参考図書やサイト一覧を作成し、適切な資料を探すことに時間を割かれることなく時間を有効に使って調べ学習に取り組むことができるようにします。

特別支援教育担当の教員に対して、視聴覚教育情報ネットワークの活用を呼びかけ、教材作成に関する情報提供等を促進します。



♪市内小学校図書室♪

イ 家庭・地域・関連機関との連携

現状と課題

これまでも、読み聞かせや環境整備など様々なボランティアの協力を得て、学校図書館の整備を行ってきました。多くの小学校ではP T Aが中心となつて、各教室にある学級文庫を市民図書館から借り受けています。教職員は調べ学習に使用する図書の団体貸出を利用しています。

しかし、市民図書館と小中学校を結ぶ流通便がないため、図書を運搬することがP T Aや担任教諭の負担となっています。

また、市民図書館と教育委員会指導課、学校教育課とで、平成 15 年度から連絡会議を設置して連携を進め、情報交換を行ってきました。

施策の方向

今後も、読み聞かせや環境整備など、学校支援地域本部*2等の地域ボランティアの協力を積極的に受け入れていきます。

市民図書館、指導課、学校教育課、教育委員会総務課が協力して学校図書館支援センターを共同運営することで、今後一層の連携を図っていきます。

また、学校間及び学校と市民図書館間の流通便を整備し、団体貸出の図書館資料の運搬をスムーズにします。

ウ 学校図書館資料の整備・充実

現状と課題

全校とも、文部科学省から出されている学級数を基準にした蔵書冊数の目標値「学校図書館図書標準」は達成しています。しかし、今までは「読書センター」としての機能が強かったため、文学に蔵書比率が偏っており、調べ学習に使用する図書が不足する傾向にあります。

また、障がいがあり、特別な支援を必要とする子どもも、等しく読書の機会を持てるよう、それぞれの特性に合わせた資料の充実が求められます。

施策の方向

蔵書の各分類の配分比率を調査し、偏りがないかを調べ、調整していく必要があります。特に今後は、「学習センター」としての機能を高めるため、全教科・領域において多様な教育活動が展開できるよう、調べ学習に利活用する分野の蔵書を充実させていきます。

選書については、学校図書館支援センターが指導助言を行い、配分比率と共に、校内研究の主題等各学校の課題も考慮していきます。

また、学校や地域の行事などに関する資料を保存するアーカイブ*3としての機能や、児童生徒の自主的な学習の場など、学校図書館ならではの機能の強化を図ります。

障がいのある子どもの読書活動についても、一人一人の教育的ニーズに応じた様々な形態の図書館資料の整備を図ります。

エ 学校図書館施設・設備の整備・充実

現状と課題

小学校は、開館していても学校司書等の大人が不在の時間が多くあります。中学校は、図書管理のため昼休み以外は施錠されている学校が多くあります。

学校によっては、読書スペースが十分に確保できていなかったり、特に小学校低学年の体格に合った机や椅子が設置されていない学校もあります。

施策の方向

学校司書や地域ボランティアなど、大人のいる開館時間を増やします。

学校図書館支援センターが指導助言し、各校の排架や掲示物を工夫し、安らぎのある環境や知的好奇心の醸成につながるような環境の整備を心がけます。

読書に集中できるよう、読書スペースの確保や体格に合わせた机や椅子の整備をしていきます。

オ 学校図書館の情報化

現状と課題

現在市内の大多数の学校では、学校図書館にある図書が電算化（バーコードによる管理）されていません。そのため、貸出・返却・統計作業に時間や手間がかかる、読みたい図書の検索ができないなどの支障が出ています。

また、インターネットに接続したコンピュータが学校図書館に設置されていないため、情報の収集もできません。

施策の方向

学校図書館の図書を電算化し、貸出・返却手続及び統計作業等を迅速に行えるようにします。

学校図書館に、インターネットに接続したコンピュータを設置し、自校学校図書館、他校学校図書館、市民図書館の図書館資料や情報の検索を行えるようにします。

また、他校の学校図書館とオンラインでネットワーク化し、地域全体での図書館資料の共同利用や相互貸借を行える仕組みをつくります。



カ 司書教諭*4の配置

現状と課題

学校には学校図書館に関する業務に従事する職員として、12 学級以上の学校には司書教諭の配置が義務づけられていますが、職務に従事するための校務分掌上の配慮がなされている学校は多くありません。

施策の方向

司書教諭（学校図書館担当者）に対して授業時数の軽減等校務分掌上の工夫を促し、学校図書館に関する業務に時間を割けるようにします。

キ 学校司書の配置

現状と課題

市では、臨時職員として学校司書を採用しています。全校に学校司書を派遣していますが、小学校には週に 2 日、中学校には週に 1 日の勤務となっています。そのため、授業への支援が難しい現状です。また、平成 26 年に学校図書館法が改正され、学校司書の業務内容も図書の管理から授業の支援に変化しましたが、その周知や資質向上を図る研修が十分には行われてきませんでした。

施策の方向

児童生徒や教員に対する直接的・間接的支援や、教育目標を達成するための教育指導及び広くなった業務内容に対応できるよう、学校司書の勤務日数を増やしていくように努めます。

また、学校司書の資質能力向上を目指し、市民図書館と協力して研修会を実施します。

- * 1 学校司書…学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員。
- * 2 学校支援地域本部…保護者・地域住民等の参画により、学校支援ボランティアとして学校の教育活動を支援する仕組み。
- * 3 アーカイブ…公文書等の保管所
- * 4 司書教諭…司書教諭の講習を修了した、主幹教諭、指導教諭又は教諭。学校図書館の専門的職務を掌る。



(2) 高等学校

現状と課題

市内には4つの高等学校があり、各校にはそれぞれ図書室が設置され、図書や雑誌の貸出・レファレンス等を行っています。時間は高等学校によって異なりますが、昼休み・放課後を中心に開館しています。図書委員会が置かれ、図書委員が図書室環境の向上や図書館だよりの作成などに携わっています。また、県立特別支援学校にも図書室が設置されており、貸出及び授業支援などを行っています。

各校とも図書室担当の職員が配置されており、それぞれに特徴ある図書室運営に努めていますが、担当の職員が少なく、運営についての悩みを抱えているのが現状です。

千葉県立図書館との連携等図書館間における相互協力を、積極的に進めている高校もあります。一部の高校では、我孫子市民図書館の団体貸出を利用していますが、さらにPRしていく必要があります。

アンケート調査結果では、1か月に1冊も本を読まない、学校の図書室に一度も行ったことがない、という回答が各世代の中で最も多くなっており、読書離れが顕著となっています。

施策の方向

市民図書館は、団体貸出制度、運営相談などのサービスを各高等学校に紹介し、連携を進め、インターンシップを受け入れるなど高校生の図書館利用のきっかけづくりに努めます。

4 幼稚園・保育園における子どもの読書活動の推進

ア 図書の設定・管理

現状と課題

「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」にも、絵本や物語を使用することにより、言葉に対する感性や想像力を育むことがうたわれています。そのため、我孫子市内の保育園、幼稚園等でも保育・教育の中に本を取り入れています。生活の場に本があることで、子どもが自然と自ら本を手取る環境を作っています。

園内に絵本等を揃えた書架を設置し、子ども自身が自由に読んだり、保育士や幼稚園教諭などが読み聞かせを行ったりしています。毎年予算を決めて絵本や紙芝居などを購入すると共に、保護者や図書館からの寄贈書を活用し、補充しています。また家庭への貸出を行っている園もあります。

園によっては、本棚に本が溢れているために子どもが本を選びにくい、職員が本の補修についての知識や技術を習得する時間が取りにくいなどの状況も見られます。

施策の方向

園では、子どもに合った本を揃えられるよう、必要に応じて購入していますが、家庭や他機関からの寄贈書も活用するなどして、十分な蔵書数が得られるように工夫します。本の管理に関しては、市民図書館が補修や装備についての講座を開催するとともに、選書や除籍などのアドバイス、児童書に関する講習なども行っていきます。

イ 子どもへの読み聞かせ

現状と課題

多くの園では時間を決めて1日に複数回読み聞かせをしています。また、自由に遊ぶ時間内にも、希望する子どもたちに読み聞かせを行うことで、子どもとのコミュニケーションに役立ち、子どもの興味を広げ、子どもが自ら本を手にするきっかけとなっています。また、保護者や地域ボランティアによるおはなし会を開催し、様々な本に子どもが出会えるような機会を設けている園もあります。

施策の方向

日常の保育に積極的に読み聞かせを取り入れるよう推進していきます。また、市民図書館の団体貸出制度を利用し、読み聞かせ用の本を借り受けたり、大型絵本をイベント等に利用したりすることで、子どもの本への興味を引き出すよう努めていきます。



ウ 保護者への啓発

現状と課題

多くの園では絵本の月刊誌*1を保護者に紹介しています。定期的に絵本が家庭に届き、読み聞かせ等に利用されています。また、園で所蔵している本の管理や、おはなし会に保護者が参画している園では、保護者の読書に対する意識も高いようです。

施策の方向

市民図書館は、園から依頼された読み聞かせの講習会等に積極的に講師として出向きます。また、園は、各機関から配布される、図書館だよりや読書についての配布物を家庭に配ることで、保護者も本に対して興味を持ち、読書の意義について知ってもらおうきっかけとします。

エ 保育者の研修、研鑽

現状と課題

定期的に外部研修に参加し、子どもの読書や児童書についての知識を深め、より良い本を子どもたちに提供していけるよう努力しています。また、研修によって得た知識を園内で共有するよう努めています。

施策の方向

市民図書館は、園から依頼された研修会などに積極的に出向き、選書等のアドバイスを随時行います。

*1 絵本の月刊絵本 … 出版社が年齢層毎に適した本を選出し、毎月定期的に利用者に届けるサービス。月間絵本ともいう。



第3章 計画の推進にあたって



計画の推進にあたっては、生涯学習部図書館が行政評価と合わせて各課から関連事業を抽出し、その進捗状況を年度ごとに検証していきます。

また、総合教育会議、定例教育委員会議、生涯学習審議会などにおいて結果を報告し、教育委員会が一体となって、推進していきます。

必要に応じて、市長部局等の関連部署等にも結果を報告し、意見を求めます。

〈資料〉

- 子どもの読書活動におけるアンケート調査集計結果
- 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月12日）
- 我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要領
- 我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員名簿
- 我孫子市民図書館資料収集方針

子どもの読書活動におけるアンケート調査集計結果

1. 調査の目的

子どもの読書活動推進計画の策定に向けて、我孫子市における子どもの読書活動の現状を把握するとともに、子どもの読書活動に影響を与える要因との関連を明らかにすることにより、子どもの読書活動推進計画に反映することを目的として、アンケート調査を実施しました。

2. 調査対象者

①児童・生徒

| 対象者 | 回収枚数 | 備考 |
|-------|-------|-----------------------|
| 小学2年生 | 379 | 市内小学校(13校)の2年生1クラスを対象 |
| 小学5年生 | 388 | 市内小学校(13校)の5年生1クラスを対象 |
| 中学2年生 | 390 | 市内中学校(6校)の2年生2クラスを対象 |
| 高校2年生 | 286 | 市内高等学校(4校)の2年生2クラスを対象 |
| 合計 | 1,443 | 枚 |

②保護者

| 対象者 | 回収枚数 | 備考 |
|--------|-------|---------------------|
| 4歳児クラス | 74 | 市立保育園(4園)の4歳児クラスを対象 |
| 小学2年生 | 347 | 上記の小学2年生の保護者対象 |
| 小学5年生 | 343 | 上記の小学5年生の保護者対象 |
| 中学2年生 | 340 | 上記の中学2年生の保護者対象 |
| 合計 | 1,104 | 枚 |

※クラスの抽出については、各学校に依頼。

3. 調査期間

平成29年6月1日～6月30日

■集計結果【児童・生徒】

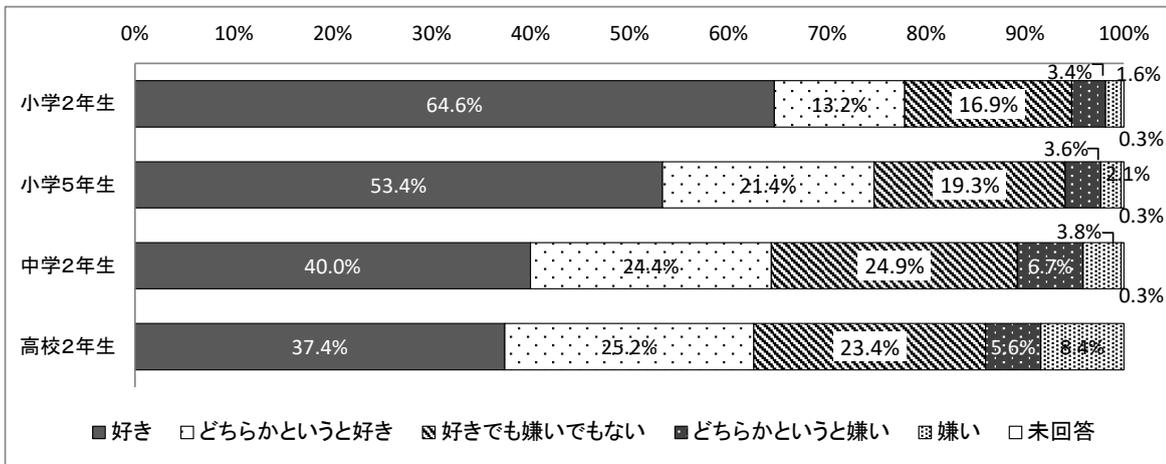
【問1】あなたは本を読むことが好きですか。

(単位:人)

| | 好き | どちらかという と好き | 好きでも嫌 いでもない | どちらか という嫌い | 嫌い | 未回答 | 合計 |
|-------|-----|----------------|----------------|---------------|----|-----|-----|
| 小学2年生 | 245 | 50 | 64 | 13 | 6 | 1 | 379 |
| 小学5年生 | 207 | 83 | 75 | 14 | 8 | 1 | 388 |
| 中学2年生 | 156 | 95 | 97 | 26 | 15 | 1 | 390 |
| 高校2年生 | 107 | 72 | 67 | 16 | 24 | 0 | 286 |

(単位:%)

| | 好き | どちらか という好き | 好きでも嫌 いでもない | どちらか という嫌い | 嫌い | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|---------------|----------------|---------------|------|------|------|
| 小学2年生 | 64.6% | 13.2% | 16.9% | 3.4% | 1.6% | 0.3% | 100% |
| 小学5年生 | 53.4% | 21.4% | 19.3% | 3.6% | 2.1% | 0.3% | 100% |
| 中学2年生 | 40.0% | 24.4% | 24.9% | 6.7% | 3.8% | 0.3% | 100% |
| 高校2年生 | 37.4% | 25.2% | 23.4% | 5.6% | 8.4% | 0.0% | 100% |



・「好き」と「どちらかという好き」を合わせた児童・生徒の割合は小学2年生が一番高く77.8%、ついで小学5年生が74.8%、中学2年生が64.4%、高校2年生が62.6%と年齢が高くなるほど低くなっている。
 ・一方、「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合わせた児童・生徒の割合は小学生2年生は5%、小学5年生は5.7%、中学2年生が10.5%、高校2年生が14%である。

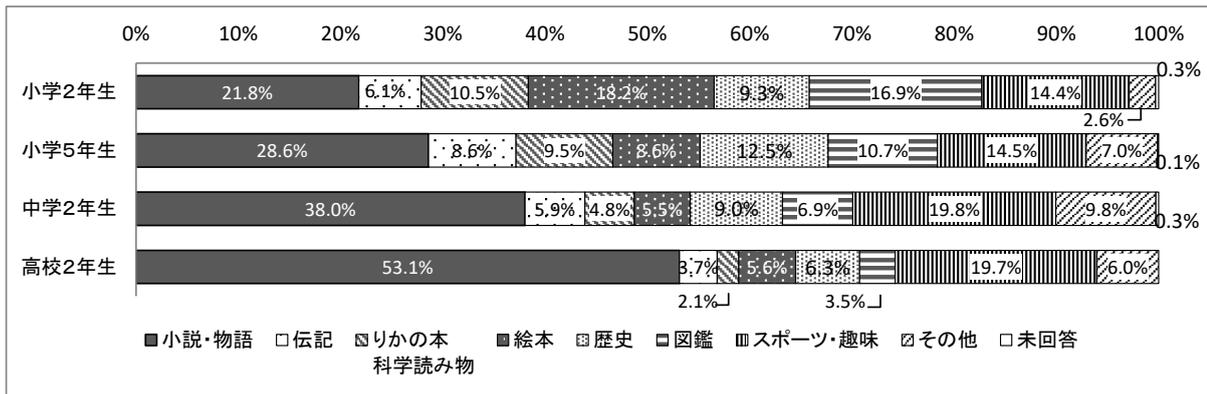
【問2】あなたはどのような本が好きですか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 小説・物語 | 伝記 | りかの本 科学読み物 | 絵本 | 歴史 | 図鑑 | スポーツ・ 趣味 | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|----|---------------|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|-------|
| 小学2年生 | 218 | 61 | 105 | 182 | 93 | 169 | 144 | 26 | 3 | 1,001 |
| 小学5年生 | 254 | 76 | 84 | 76 | 111 | 95 | 129 | 62 | 1 | 888 |
| 中学2年生 | 299 | 46 | 38 | 43 | 71 | 54 | 156 | 77 | 2 | 786 |
| 高校2年生 | 229 | 16 | 9 | 24 | 27 | 15 | 85 | 26 | 0 | 431 |

(単位:%)

| | 小説・物語 | 伝記 | りかの本 科学読み物 | 絵本 | 歴史 | 図鑑 | スポーツ・ 趣味 | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|------|---------------|-------|-------|-------|-------------|------|------|------|
| 小学2年生 | 21.8% | 6.1% | 10.5% | 18.2% | 9.3% | 16.9% | 14.4% | 2.6% | 0.3% | 100% |
| 小学5年生 | 28.6% | 8.6% | 9.5% | 8.6% | 12.5% | 10.7% | 14.5% | 7.0% | 0.1% | 100% |
| 中学2年生 | 38.0% | 5.9% | 4.8% | 5.5% | 9.0% | 6.9% | 19.8% | 9.8% | 0.3% | 100% |
| 高校2年生 | 53.1% | 3.7% | 2.1% | 5.6% | 6.3% | 3.5% | 19.7% | 6.0% | 0.0% | 100% |



- ・小学2年生は割合が高い順に「物語」「絵本」「図鑑」という回答だった。
- ・小学2年生以外はすべて割合が高い順に「小説・物語」「スポーツ・趣味」「歴史」という回答だった。
- ・「小説・物語」は学年が高くなるに従ってその割合が高くなっている。
- ・「その他」は、どの学年も「漫画」がほとんどで、ほかに「ひみつシリーズ」「雑誌」「ライトノベル」などの回答があった。

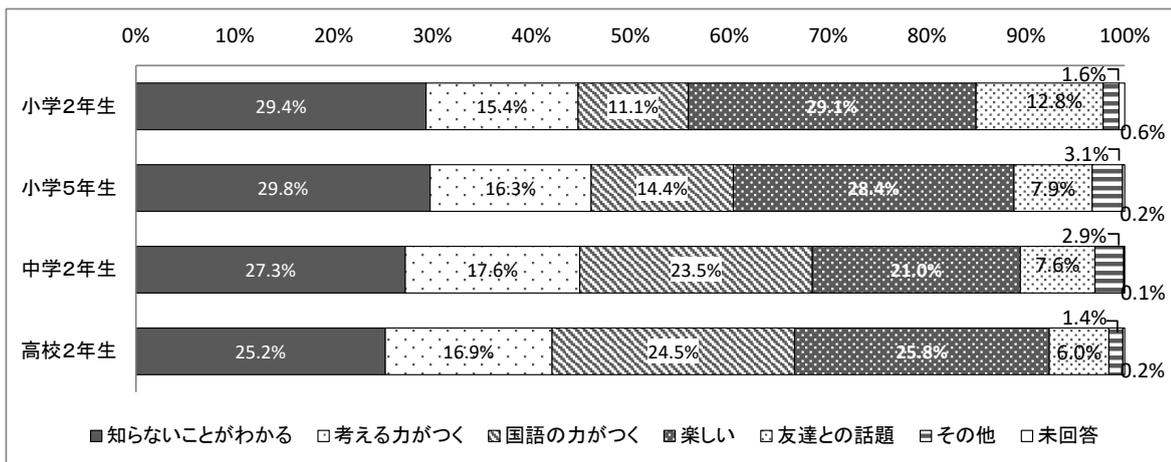
【問3】読書のよい(役に立つ)ところは何だと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 知らないことがわかる | 考える力がつく | 国語の力がつく | 楽しい | 友達との話題 | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|------------|---------|---------|-----|--------|-----|-----|-----|
| 小学2年生 | 256 | 134 | 97 | 254 | 112 | 14 | 5 | 872 |
| 小学5年生 | 263 | 144 | 127 | 251 | 70 | 27 | 2 | 884 |
| 中学2年生 | 263 | 170 | 227 | 203 | 73 | 28 | 1 | 965 |
| 高校2年生 | 142 | 95 | 138 | 145 | 34 | 8 | 1 | 563 |

(単位:%)

| | 知らないことがわかる | 考える力がつく | 国語の力がつく | 楽しい | 友達との話題 | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|------------|---------|---------|-------|--------|------|------|------|
| 小学2年生 | 29.4% | 15.4% | 11.1% | 29.1% | 12.8% | 1.6% | 0.6% | 100% |
| 小学5年生 | 29.8% | 16.3% | 14.4% | 28.4% | 7.9% | 3.1% | 0.2% | 100% |
| 中学2年生 | 27.3% | 17.6% | 23.5% | 21.0% | 7.6% | 2.9% | 0.1% | 100% |
| 高校2年生 | 25.2% | 16.9% | 24.5% | 25.8% | 6.0% | 1.4% | 0.2% | 100% |



- ・小学2年生・小学5年生は割合が高い順に「知らないことがわかる」「楽しい」「考える力がつく」であった。
- ・中学2年生は割合が高い順に「知らないことがわかる」「国語の力がつく」「楽しい」であった。
- ・高校2年生は割合が高い順に「楽しい」「知らないことがわかる」「国語の力がつく」であった。
- ・「その他」では、「集中力がつく」「想像力がつく」「おちつく」「他の人の人生を歩める」「いろんな人の立場になって考えることができる」などの回答があった。

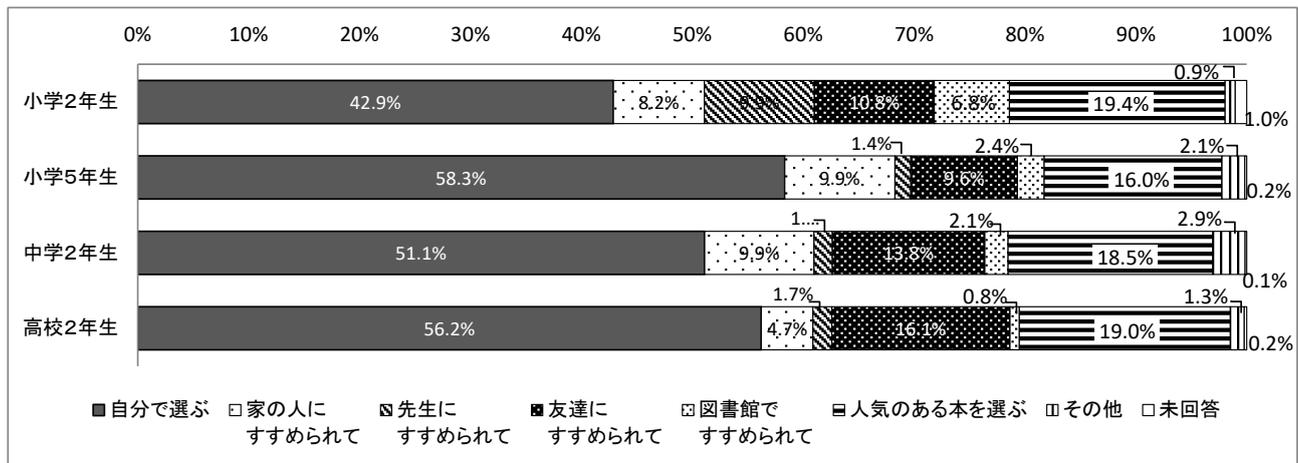
【問4】(よむ)本をどのようにして選んでいますか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 自分で選ぶ | 家の人に すすめられて | 先生に すすめられて | 友達に すすめられて | 図書館で すすめられて | 人気のある 本を選ぶ | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|-----|-----|-----|
| 小学2年生 | 329 | 63 | 76 | 83 | 52 | 149 | 7 | 8 | 767 |
| 小学5年生 | 364 | 62 | 9 | 60 | 15 | 100 | 13 | 1 | 624 |
| 中学2年生 | 368 | 71 | 12 | 99 | 15 | 133 | 21 | 1 | 720 |
| 高校2年生 | 266 | 22 | 8 | 76 | 4 | 90 | 6 | 1 | 473 |

(単位:%)

| | 自分で選ぶ | 家の人に すすめられて | 先生に すすめられて | 友達に すすめられて | 図書館で すすめられて | 人気のある 本を選ぶ | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|------|------|------|
| 小学2年生 | 42.9% | 8.2% | 9.9% | 10.8% | 6.8% | 19.4% | 0.9% | 1.0% | 100% |
| 小学5年生 | 58.3% | 9.9% | 1.4% | 9.6% | 2.4% | 16.0% | 2.1% | 0.2% | 100% |
| 中学2年生 | 51.1% | 9.9% | 1.7% | 13.8% | 2.1% | 18.5% | 2.9% | 0.1% | 100% |
| 高校2年生 | 56.2% | 4.7% | 1.7% | 16.1% | 0.8% | 19.0% | 1.3% | 0.2% | 100% |



- ・「自分で選ぶ」と答えた児童・生徒の割合は約5割を占めた。(小学2年生:42.9%、小学5年生:58.3%、中学2年生:51.1%、高校2年生:56.2%)
- ・次に「人気のある本を選ぶ」が約2割弱を占めた。(小学2年生:19.4%、小学5年生:16.0%、中学2年生:18.5%、高校2年生:19.0%)
- ・「その他」では、「インターネットで調べる」「国語の教科書に載っている本」「題名・表紙をみて」などの回答があった。

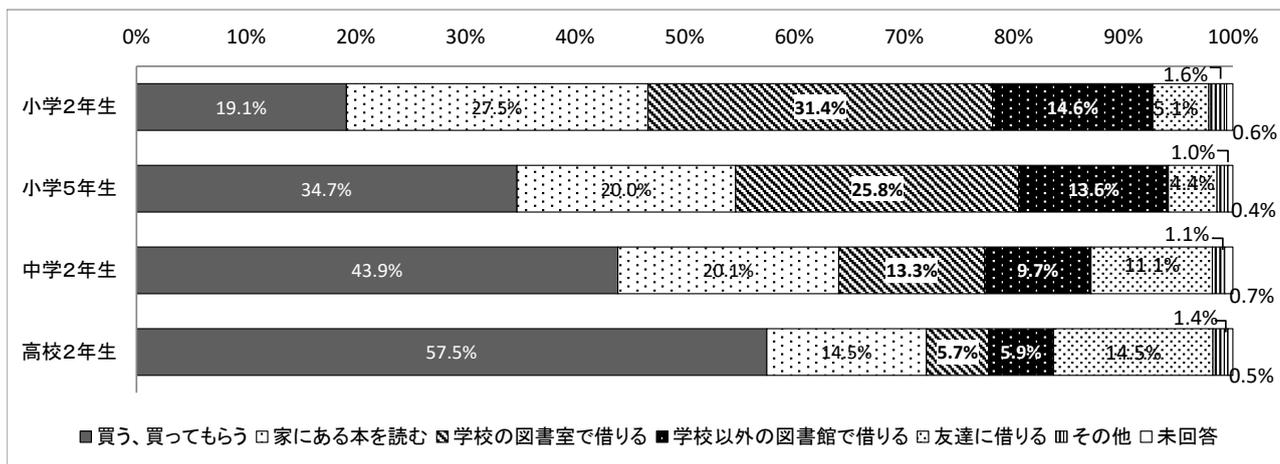
【問5】どのようにして本をよんで(手に入れて)いますか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 買う、買って もらう | 家にある本を 読む | 学校の図書 室で借りる | 学校以外の 図書館で借り る | 友達に借りる | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|---------------|--------------|----------------|----------------------|--------|-----|-----|-----|
| 小学2年生 | 165 | 237 | 271 | 126 | 44 | 14 | 5 | 862 |
| 小学5年生 | 313 | 180 | 233 | 123 | 40 | 9 | 4 | 902 |
| 中学2年生 | 353 | 162 | 107 | 78 | 89 | 9 | 6 | 804 |
| 高校2年生 | 253 | 64 | 25 | 26 | 64 | 6 | 2 | 440 |

(単位:%)

| | 買う、買って もらう | 家にある本を 読む | 学校の図書 室で借りる | 学校以外の 図書館で借り る | 友達に借りる | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|---------------|--------------|----------------|----------------------|--------|------|------|------|
| 小学2年生 | 19.1% | 27.5% | 31.4% | 14.6% | 5.1% | 1.6% | 0.6% | 100% |
| 小学5年生 | 34.7% | 20.0% | 25.8% | 13.6% | 4.4% | 1.0% | 0.4% | 100% |
| 中学2年生 | 43.9% | 20.1% | 13.3% | 9.7% | 11.1% | 1.1% | 0.7% | 100% |
| 高校2年生 | 57.5% | 14.5% | 5.7% | 5.9% | 14.5% | 1.4% | 0.5% | 100% |



- ・「買う、買ってもらう」と答えた児童・生徒は学年が高くなるに従って割合が高い。(小学2年生:19.1%、小学5年生:34.7%、中学2年生:43.9%、高校2年生:57.5%)
- ・「学校の図書室で借りる」「学校以外の図書室で借りる」を合せた児童・生徒の割合は小学2年生が一番高く46.0%、次いで小学5年生が39.4%、中学2年生が23.0%、高校2年生が11.6%と学年が高くなるに従って、図書館を利用する割合が減少している。
- ・「その他」では、「学級文庫で読む」「読まない」などの回答があった。

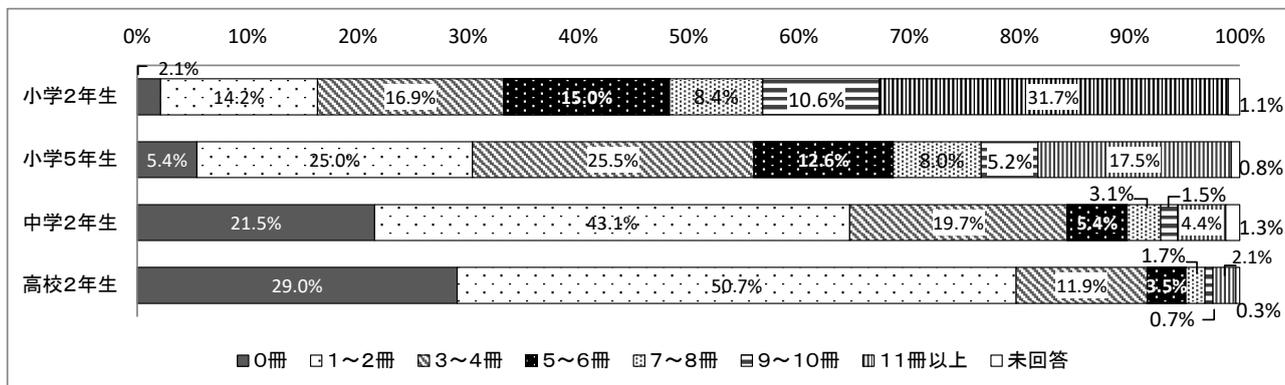
【問6】だいたい1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。 ※「0冊」以外を回答は【問7】へ

(単位:人)

| | 0冊 | 1~2冊 | 3~4冊 | 5~6冊 | 7~8冊 | 9~10冊 | 11冊以上 | 未回答 | 合計 |
|-------|----|------|------|------|------|-------|-------|-----|-----|
| 小学2年生 | 8 | 54 | 64 | 57 | 32 | 40 | 120 | 4 | 379 |
| 小学5年生 | 21 | 97 | 99 | 49 | 31 | 20 | 68 | 3 | 388 |
| 中学2年生 | 84 | 168 | 77 | 21 | 12 | 6 | 17 | 5 | 390 |
| 高校2年生 | 83 | 145 | 34 | 10 | 5 | 2 | 6 | 1 | 286 |

(単位:%)

| | 0冊 | 1~2冊 | 3~4冊 | 5~6冊 | 7~8冊 | 9~10冊 | 11冊以上 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|
| 小学2年生 | 2.1% | 14.2% | 16.9% | 15.0% | 8.4% | 10.6% | 31.7% | 1.1% | 100% |
| 小学5年生 | 5.4% | 25.0% | 25.5% | 12.6% | 8.0% | 5.2% | 17.5% | 0.8% | 100% |
| 中学2年生 | 21.5% | 43.1% | 19.7% | 5.4% | 3.1% | 1.5% | 4.4% | 1.3% | 100% |
| 高校2年生 | 29.0% | 50.7% | 11.9% | 3.5% | 1.7% | 0.7% | 2.1% | 0.3% | 100% |



- ・1か月の読書量は、小学2年生が最も多く「11冊以上」が31.7%であった。
- ・中学2年生・高校2年生は、「1冊~2冊」の割合が多く、約5割を占めた。
- ・1冊も読まなかった割合は小学2年生が2.1%、小学5年生が5.4%、中学2年生が21.5%、高校2年生が29.0%と学年が高くなるに従い、増加している。

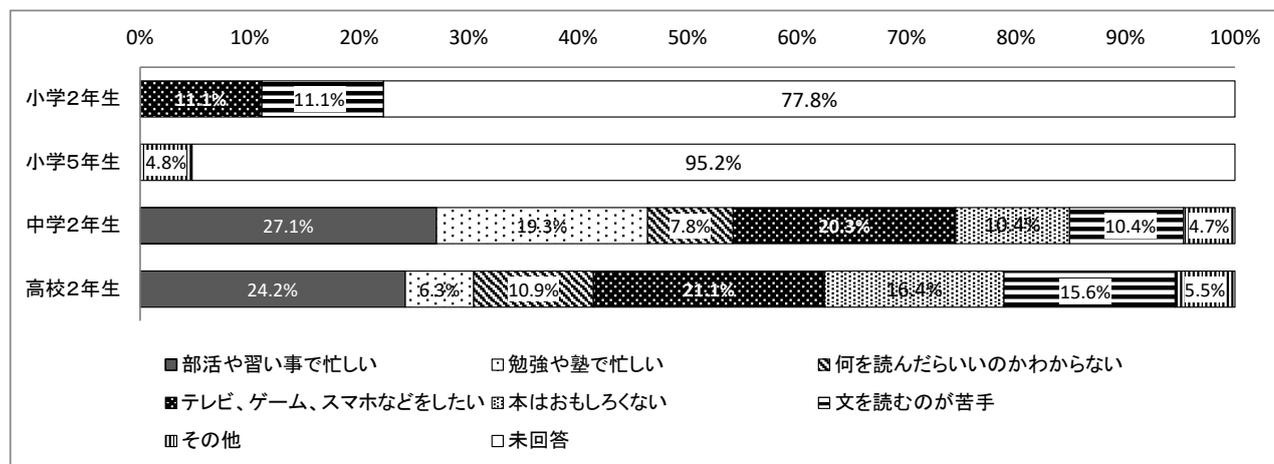
【問6-2】(6でア「0冊」を選択した場合)本を読まない理由は何ですか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 部活や習い事で忙しい | 勉強や塾で忙しい | 何を读んだらいいのかわからない | テレビ、ゲーム、スマホなどをしてしたい | 本はおもしろくない | 文を読むのが苦手 | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|------------|----------|-----------------|---------------------|-----------|----------|-----|-----|-----------|
| 小学2年生 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 7 | 9 (8人) |
| 小学5年生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 20 | 21 (21人) |
| 中学2年生 | 52 | 37 | 15 | 39 | 20 | 20 | 9 | 0 | 192 (84人) |
| 高校2年生 | 31 | 8 | 14 | 27 | 21 | 20 | 7 | 0 | 128 (83人) |

(単位:%)

| | 部活や習い事で忙しい | 勉強や塾で忙しい | 何を读んだらいいのかわからない | テレビ、ゲーム、スマホなどをしてしたい | 本はおもしろくない | 文を読むのが苦手 | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|------------|----------|-----------------|---------------------|-----------|----------|------|-------|------|
| 小学2年生 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 11.1% | 0.0% | 11.1% | 0.0% | 77.8% | 100% |
| 小学5年生 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 4.8% | 95.2% | 100% |
| 中学2年生 | 27.1% | 19.3% | 7.8% | 20.3% | 10.4% | 10.4% | 4.7% | 0.0% | 100% |
| 高校2年生 | 24.2% | 6.3% | 10.9% | 21.1% | 16.4% | 15.6% | 5.5% | 0.0% | 100% |



- ・本を読まない理由として中学2年生では、割合が高い順に「部活や習い事で忙しい」が27.1%、「テレビ、ゲーム、スマホなどをしてしたい」が20.3%、「勉強や塾で忙しい」が19.3%であった。
- ・高校2年生では、割合が高い順に「部活や習い事で忙しい」が24.2%、「テレビ、ゲーム、スマホなどをしてしたい」が21.1%、「本はおもしろくない」が16.4%であった。
- ・その他では、「本を読む気がおきない」「面倒くさい」などの回答があった。

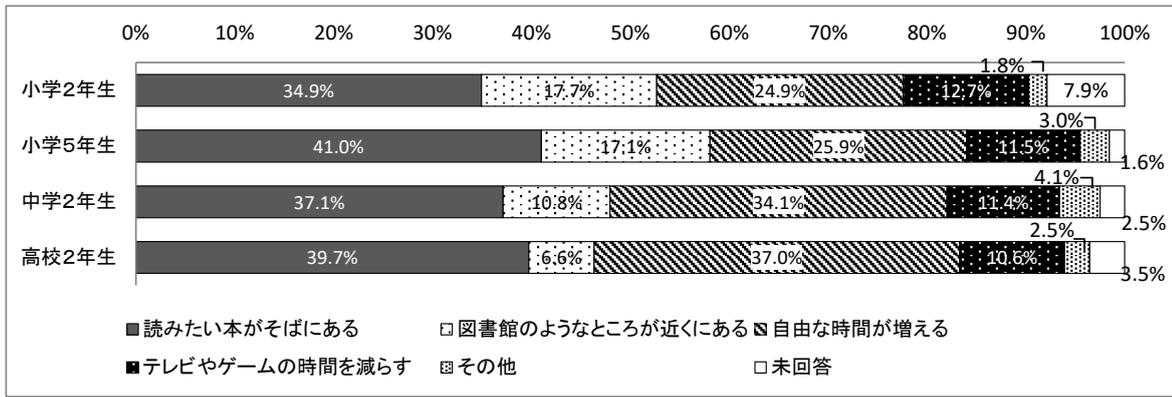
【問7】どのようにしたらもっと本を読むと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 読みたい本がそばにある | 図書館のようところが近くにある | 自由な時間が増える | テレビやゲームの時間を減らす | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------------|-----------------|-----------|----------------|-----|-----|-----|
| 小学2年生 | 209 | 106 | 149 | 76 | 11 | 47 | 598 |
| 小学5年生 | 264 | 110 | 167 | 74 | 19 | 10 | 644 |
| 中学2年生 | 254 | 74 | 233 | 78 | 28 | 17 | 684 |
| 高校2年生 | 157 | 26 | 146 | 42 | 10 | 14 | 395 |

(単位:%)

| | 読みたい本がそばにある | 図書館のようところが近くにある | 自由な時間が増える | テレビやゲームの時間を減らす | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------------|-----------------|-----------|----------------|------|------|------|
| 小学2年生 | 34.9% | 17.7% | 24.9% | 12.7% | 1.8% | 7.9% | 100% |
| 小学5年生 | 41.0% | 17.1% | 25.9% | 11.5% | 3.0% | 1.6% | 100% |
| 中学2年生 | 37.1% | 10.8% | 34.1% | 11.4% | 4.1% | 2.5% | 100% |
| 高校2年生 | 39.7% | 6.6% | 37.0% | 10.6% | 2.5% | 3.5% | 100% |



- ・小学2年生・小学5年生では、割合が高い順に「読みたい本がそばにある」「自由な時間が増える」「図書館のようなところが近くにある」であった。
- ・中学2年生・高校2年生では、割合が高い順に「読みたい本がそばにある」「自由な時間が増える」「テレビやゲームの時間を減らす」であった。
- ・「その他」では、「学校で読書の時間をつくる」「おもしろい本をみつけたら」などの回答があった。

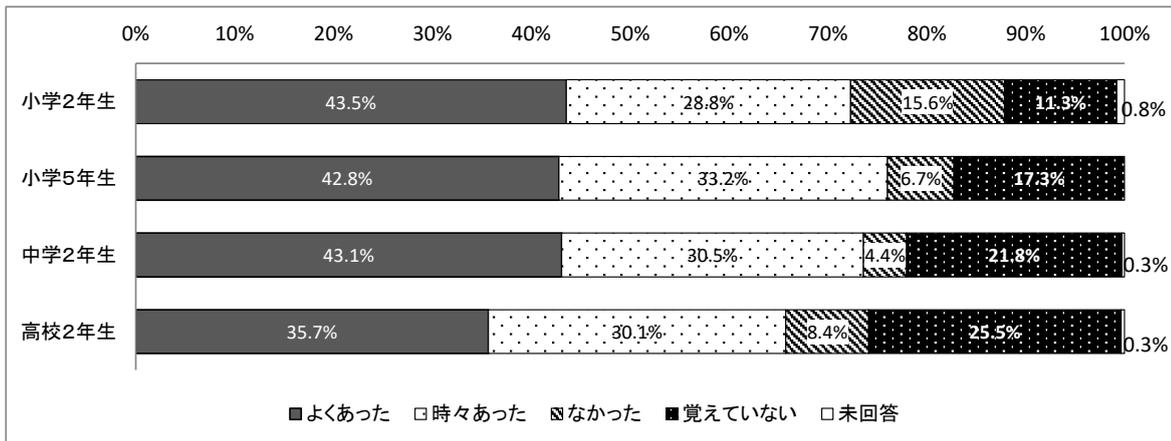
【問8】小学校に入学する前、家の人に本を読んでもらったこと(経験)はありますか。

(単位:人)

| | よくあった | 時々あった | なかった | 覚えていない | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|--------|-----|-----|
| 小学2年生 | 165 | 109 | 59 | 43 | 3 | 379 |
| 小学5年生 | 166 | 129 | 26 | 67 | 0 | 388 |
| 中学2年生 | 168 | 119 | 17 | 85 | 1 | 390 |
| 高校2年生 | 102 | 86 | 24 | 73 | 1 | 286 |

(単位:%)

| | よくあった | 時々あった | なかった | 覚えていない | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|
| 小学2年生 | 43.5% | 28.8% | 15.6% | 11.3% | 0.8% | 100% |
| 小学5年生 | 42.8% | 33.2% | 6.7% | 17.3% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生 | 43.1% | 30.5% | 4.4% | 21.8% | 0.3% | 100% |
| 高校2年生 | 35.7% | 30.1% | 8.4% | 25.5% | 0.3% | 100% |



- ・「よくあった」と「時々あった」を合わせた児童・生徒の割合は小学5年生が一番高く76%、次いで中学2年生が73.6%、小学2年生が72.3%、高校2年生が65.8%であった。
- ・また「なかった」と答えた児童・生徒の割合は、小学2年生が15.6%、高校2年生が8.4%、小学5年生が6.7%、中学2年生が4.4%であった。

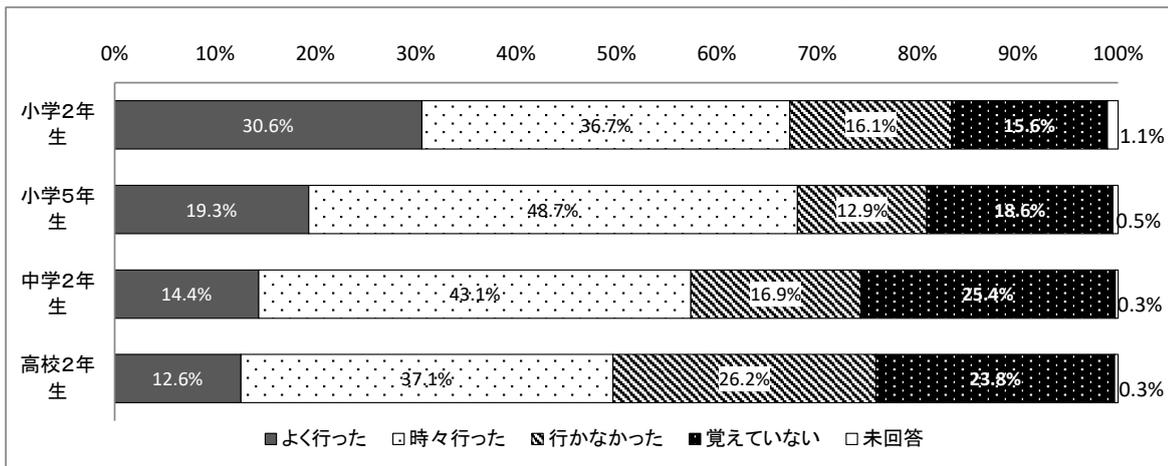
【問9】小学校に入学する前、どのくらい図書館に行きましたか。

(単位:人)

| | よく行った | 時々行った | 行かなかった | 覚えていない | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 小学2年生 | 116 | 139 | 61 | 59 | 4 | 379 |
| 小学5年生 | 75 | 189 | 50 | 72 | 2 | 388 |
| 中学2年生 | 56 | 168 | 66 | 99 | 1 | 390 |
| 高校2年生 | 36 | 106 | 75 | 68 | 1 | 286 |

(単位:%)

| | よく行った | 時々行った | 行かなかった | 覚えていない | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|--------|--------|------|------|
| 小学2年生 | 30.6% | 36.7% | 16.1% | 15.6% | 1.1% | 100% |
| 小学5年生 | 19.3% | 48.7% | 12.9% | 18.6% | 0.5% | 100% |
| 中学2年生 | 14.4% | 43.1% | 16.9% | 25.4% | 0.3% | 100% |
| 高校2年生 | 12.6% | 37.1% | 26.2% | 23.8% | 0.3% | 100% |



- ・「よく行った」と「時々行った」を合わせた児童・生徒の割合は、高い順に小学5年生が68%、小学2年生が67.3%、中学2年生が57.5%、高校2年生が49.7%であった。
- ・また、「行かなかった」と答えた児童・生徒の割合は、高い順に高校2年生が26.2%、中学2年生が16.9%、小学2年生が16.1%、小学5年生が12.9%であった。

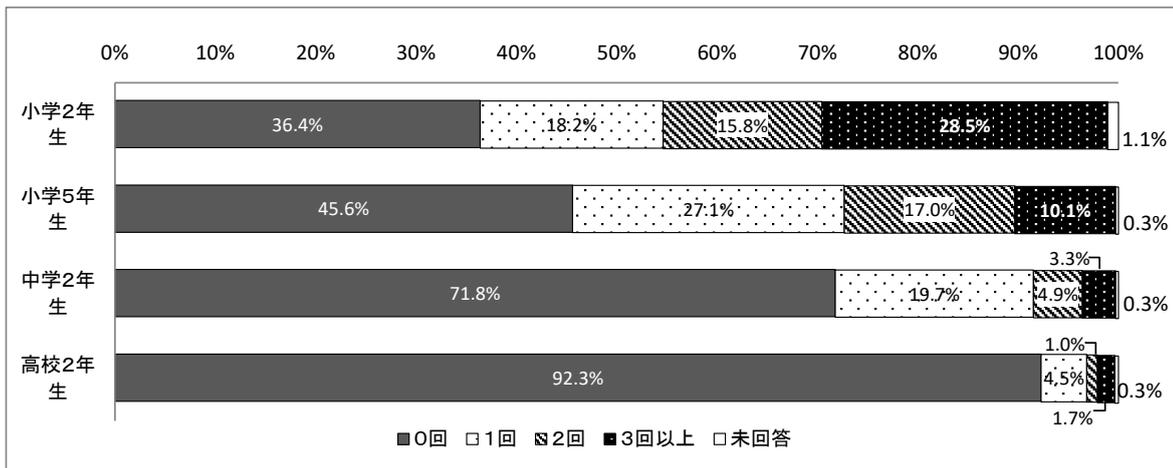
【問10】我孫子市民図書館(分館、移動図書館含む)に1ヶ月にどのくらい行きますか。

(単位:人)

| | 0回 | 1回 | 2回 | 3回以上 | 未回答 | 合計 |
|-------|-----|-----|----|------|-----|-----|
| 小学2年生 | 138 | 69 | 60 | 108 | 4 | 379 |
| 小学5年生 | 177 | 105 | 66 | 39 | 1 | 388 |
| 中学2年生 | 280 | 77 | 19 | 13 | 1 | 390 |
| 高校2年生 | 264 | 13 | 3 | 5 | 1 | 286 |

(単位:%)

| | 0回 | 1回 | 2回 | 3回以上 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 小学2年生 | 36.4% | 18.2% | 15.8% | 28.5% | 1.1% | 100% |
| 小学5年生 | 45.6% | 27.1% | 17.0% | 10.1% | 0.3% | 100% |
| 中学2年生 | 71.8% | 19.7% | 4.9% | 3.3% | 0.3% | 100% |
| 高校2年生 | 92.3% | 4.5% | 1.0% | 1.7% | 0.3% | 100% |



- ・図書館を1か月に1度も利用しなかった割合は学年が高くなるにしたがって増加している。高校2年生が一番多く92.3%、次いで中学2年生が71.8%、小学5年生が45.6%、小学2年生が36.4%であった。
- ・一方、小学2年生は28.5%が1か月に3回以上、図書館を利用していると答えた。

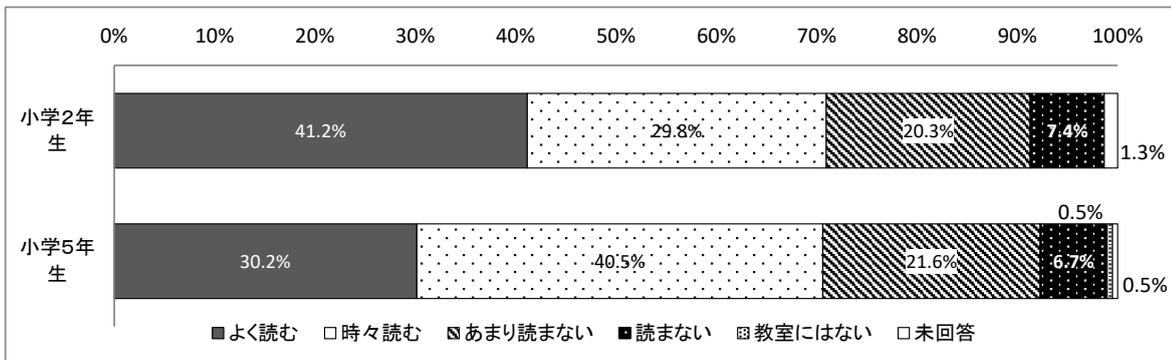
【問11】教室にある本(学級文庫など)を読んでいますか。※小学2年生、小学5年生のみ設問

(単位:人)

| | よく読む | 時々読む | あまり読まない | 読まない | 教室にはない | 未回答 | 合計 |
|-------|------|------|---------|------|--------|-----|-----|
| 小学2年生 | 156 | 113 | 77 | 28 | 0 | 5 | 379 |
| 小学5年生 | 117 | 157 | 84 | 26 | 2 | 2 | 388 |

(単位:%)

| | よく読む | 時々読む | あまり読まない | 読まない | 教室にはない | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|---------|------|--------|------|------|
| 小学2年生 | 41.2% | 29.8% | 20.3% | 7.4% | 0.0% | 1.3% | 100% |
| 小学5年生 | 30.2% | 40.5% | 21.6% | 6.7% | 0.5% | 0.5% | 100% |



- ・「よく読む」と「時々読む」を合わせた児童・生徒の割合は、約7割を占めた。
- ・また、「あまり読まない」と「読まない」を合わせた児童・生徒の割合は約2割だった。
- ・学級文庫の存在は、みんな知っている。

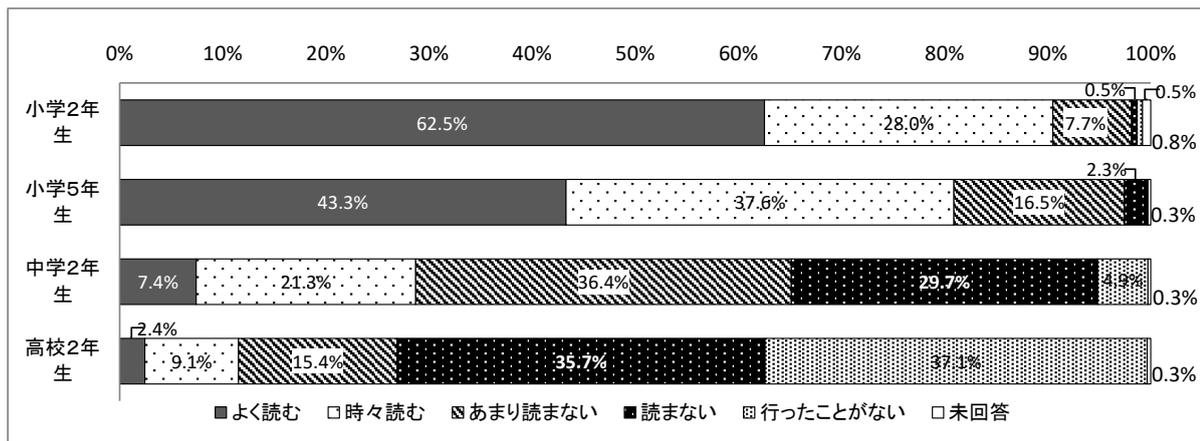
【問12】学校の図書室の本を読んでいますか。 ※中学2年・高校2年は問11が該当

(単位:人)

| | よく読む | 時々読む | あまり読まない | 読まない | 行ったことがない | 未回答 | 合計 |
|-------|------|------|---------|------|----------|-----|-----|
| 小学2年生 | 237 | 106 | 29 | 2 | 2 | 3 | 379 |
| 小学5年生 | 168 | 146 | 64 | 9 | 0 | 1 | 388 |
| 中学2年生 | 29 | 83 | 142 | 116 | 19 | 1 | 390 |
| 高校2年生 | 7 | 26 | 44 | 102 | 106 | 1 | 286 |

(単位:%)

| | よく読む | 時々読む | あまり読まない | 読まない | 行ったことがない | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|---------|-------|----------|------|------|
| 小学2年生 | 62.5% | 28.0% | 7.7% | 0.5% | 0.5% | 0.8% | 100% |
| 小学5年生 | 43.3% | 37.6% | 16.5% | 2.3% | 0.0% | 0.3% | 100% |
| 中学2年生 | 7.4% | 21.3% | 36.4% | 29.7% | 4.9% | 0.3% | 100% |
| 高校2年生 | 2.4% | 9.1% | 15.4% | 35.7% | 37.1% | 0.3% | 100% |



- ・「よく読む」と「時々読む」を合わせた児童・生徒の割合は、学年が低いほど高く、小学2年生が90.5%、小学5年生が80.9%、中学2年生が28.7%、高校2年生が11.5%であった。
- ・また、高校2年生では、「行ったことがない」が37.1%を占めた。

【問13】学校の図書室でやってほしいこと(望むこと)は何ですか。(複数回答可)

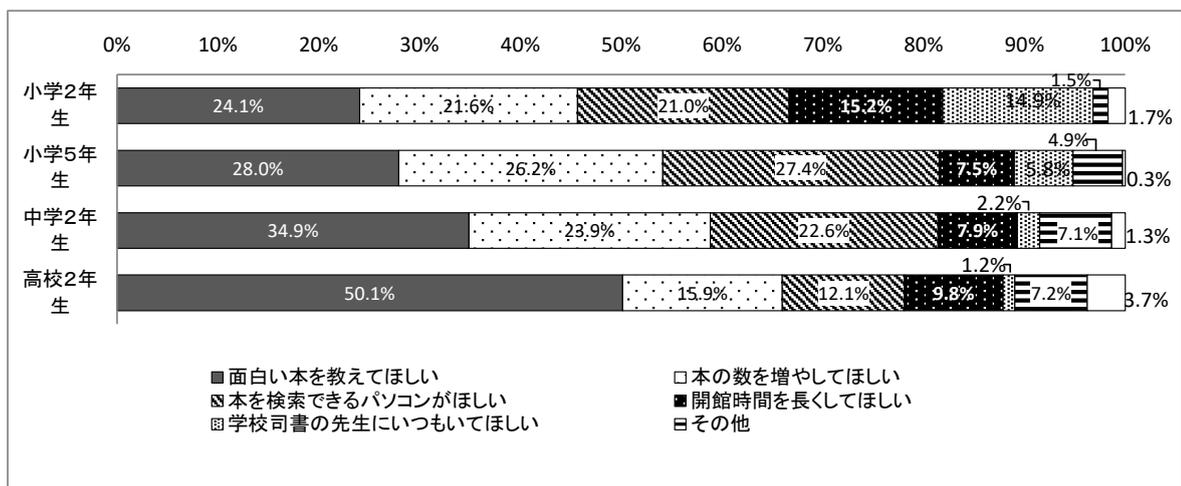
※中学2年・高校2年は問12

(単位:人)

| | 面白い本を 教えてほしい | 本の数を増 やしてほしい | 本を検索でき るパソコンが ほしい | 開館時間を 長くしてほしい | 学校司書の 先生にいつも いてほしい | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-----------------|-----------------|-------------------------|------------------|--------------------------|-----|-----|-----|
| 小学2年生 | 226 | 203 | 197 | 143 | 140 | 14 | 16 | 939 |
| 小学5年生 | 206 | 193 | 202 | 55 | 43 | 36 | 2 | 737 |
| 中学2年生 | 235 | 161 | 152 | 53 | 15 | 48 | 9 | 673 |
| 高校2年生 | 174 | 55 | 42 | 34 | 4 | 25 | 13 | 347 |

(単位:%)

| | 面白い本を 教えてほしい | 本の数を増 やしてほしい | 本を検索でき るパソコンが ほしい | 開館時間を 長くしてほしい | 学校司書の 先生にいつも いてほしい | その他 | 未回答 | 合計 |
|-------|-----------------|-----------------|-------------------------|------------------|--------------------------|------|------|------|
| 小学2年生 | 24.1% | 21.6% | 21.0% | 15.2% | 14.9% | 1.5% | 1.7% | 100% |
| 小学5年生 | 28.0% | 26.2% | 27.4% | 7.5% | 5.8% | 4.9% | 0.3% | 100% |
| 中学2年生 | 34.9% | 23.9% | 22.6% | 7.9% | 2.2% | 7.1% | 1.3% | 100% |
| 高校2年生 | 50.1% | 15.9% | 12.1% | 9.8% | 1.2% | 7.2% | 3.7% | 100% |



・どの学年も「面白いい本を教えてください」「本の数を増やしてほしい」「本を検索できるパソコンがほしい」が上位を占めた。
 ・「その他」では、「本を増やしてほしい(新しい本・漫画・ライトノベルなど)」「本の修復」などの回答があった。

【問14】我孫子市民図書館で行われているもので参加したことがあるものに○をつけてください。

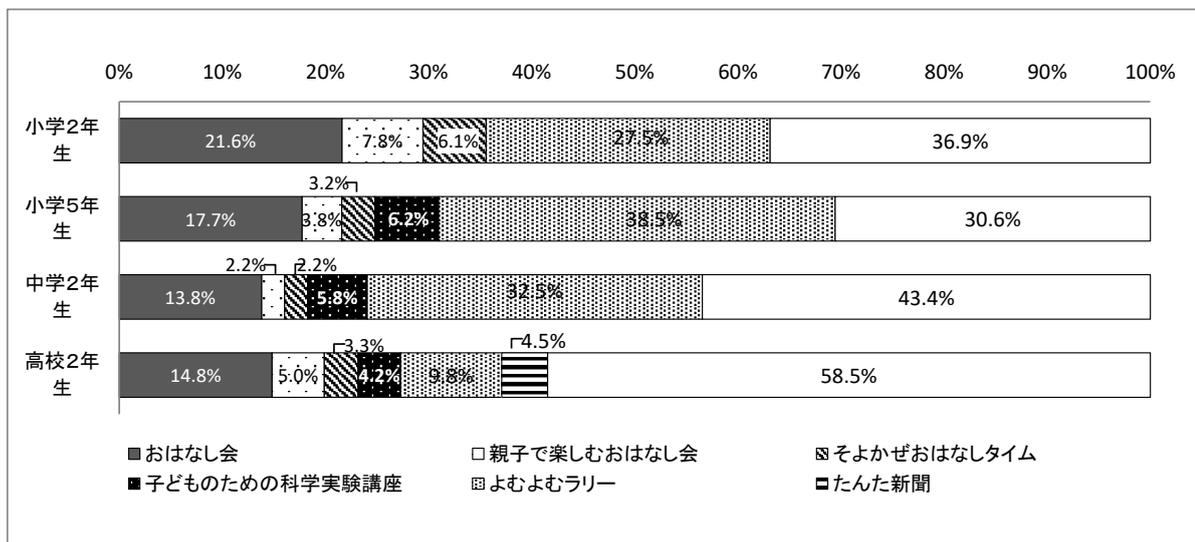
※高校2年生は知っているものに○ ※中学2年・高校2年は問13 (複数回答可)

(単位:人)

| | おはなし会 | 親子で楽しむおはなし会 | そよかぜおはなしタイム | 子どものための科学実験講座 | よむよむラリー | たんた新聞 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------------|-------------|---------------|---------|-------|-----|-----|
| 小学2年生 | 102 | 37 | 29 | | 130 | | 174 | 472 |
| 小学5年生 | 83 | 18 | 15 | 29 | 180 | | 143 | 468 |
| 中学2年生 | 62 | 10 | 10 | 26 | 146 | | 195 | 449 |
| 高校2年生 | 50 | 17 | 11 | 14 | 33 | 15 | 197 | 337 |

(単位:%)

| | おはなし会 | 親子で楽しむおはなし会 | そよかぜおはなしタイム | 子どものための科学実験講座 | よむよむラリー | たんた新聞 | 未回答 | 合計 |
|-------|-------|-------------|-------------|---------------|---------|-------|-------|------|
| 小学2年生 | 21.6% | 7.8% | 6.1% | | 27.5% | | 36.9% | 100% |
| 小学5年生 | 17.7% | 3.8% | 3.2% | 6.2% | 38.5% | | 30.6% | 100% |
| 中学2年生 | 13.8% | 2.2% | 2.2% | 5.8% | 32.5% | | 43.4% | 100% |
| 高校2年生 | 14.8% | 5.0% | 3.3% | 4.2% | 9.8% | 4.5% | 58.5% | 100% |



- ・全体的に(おそらく参加したことがない、高校生では知らない)未回答が多かった。
- ・小学2年生は割合が高い順に「よむよむラリー」「おはなし会」「親子で楽しむおはなし会」であった。
- ・小学5年生および中学2年生は割合が高い順に「よむよむラリー」「おはなし会」、小学4年生から参加できる「子どものための科学実験講座」であった。
- ・高校2年生は回答が少なかったが、割合が高い順に「おはなし会」「よむよむラリー」「親子で楽しむおはなし会」であった。
- ・「よむよむラリー」は用紙を小学生全員に配布しているため、小学2年生から中学2年生までで一番参加者が多かった。

■集計結果【保護者】

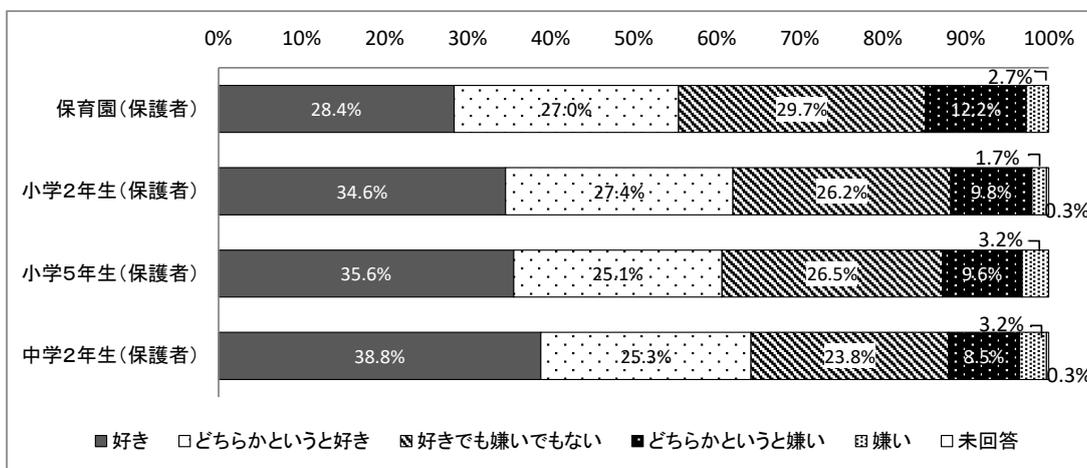
【問1】あなたは本を読むことが好きですか。

(単位:人)

| | 好き | どちらか というと 好き | 好きでも 嫌いでも ない | どちらか というと 嫌い | 嫌い | 未回答 | 合計 |
|------------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|----|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 21 | 20 | 22 | 9 | 2 | 0 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 120 | 95 | 91 | 34 | 6 | 1 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 122 | 86 | 91 | 33 | 11 | 0 | 343 |
| 中学2年生(保護者) | 132 | 86 | 81 | 29 | 11 | 1 | 340 |

(単位:%)

| | 好き | どちらか というと 好き | 好きでも 嫌いでも ない | どちらか というと 嫌い | 嫌い | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|--------------------|--------------------|--------------------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 28.4% | 27.0% | 29.7% | 12.2% | 2.7% | 0.0% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 34.6% | 27.4% | 26.2% | 9.8% | 1.7% | 0.3% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 35.6% | 25.1% | 26.5% | 9.6% | 3.2% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 38.8% | 25.3% | 23.8% | 8.5% | 3.2% | 0.3% | 100% |



- ・「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合は保育園の保護者が55.4%と低いが、小学生・中学生の保護者は約60%であった。
- ・また「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合わせた割合もやはり保育園の保護者が多く14.9%、ついで小学5年生の保護者12.8%、中学2年生の保護者が11.7%、小学2年生の保護者が11.5%であった。

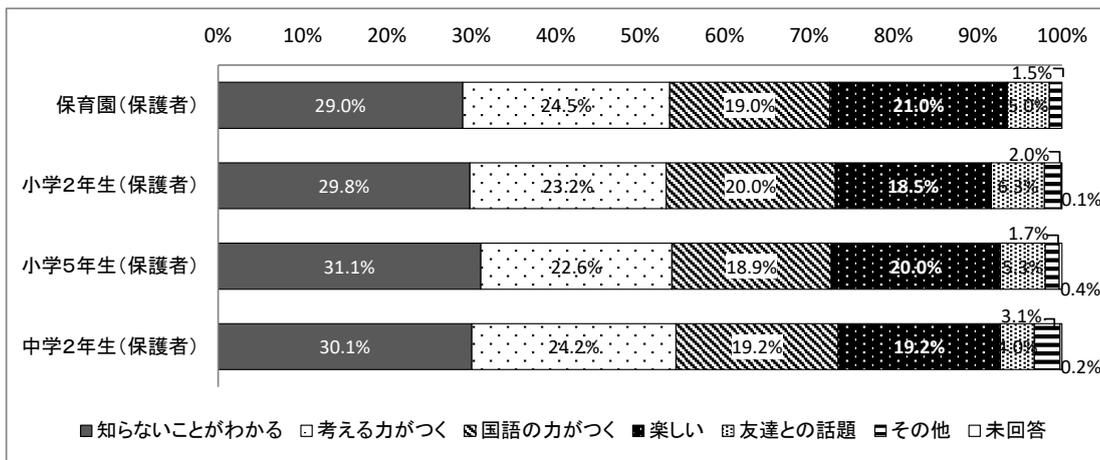
【問2】読書は何の役に立つと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 知らないことがわかる | 考える力がつく | 国語の力がつく | 楽しい | 友達との話題 | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|------------|---------|---------|-----|--------|-----|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 58 | 49 | 38 | 42 | 10 | 3 | 0 | 200 |
| 小学2年生(保護者) | 271 | 211 | 182 | 168 | 57 | 18 | 1 | 908 |
| 小学5年生(保護者) | 264 | 192 | 160 | 170 | 45 | 14 | 3 | 848 |
| 中学2年生(保護者) | 255 | 205 | 163 | 163 | 34 | 26 | 2 | 848 |

(単位:%)

| | 知らないことがわかる | 考える力がつく | 国語の力がつく | 楽しい | 友達との話題 | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|------------|---------|---------|-------|--------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 29.0% | 24.5% | 19.0% | 21.0% | 5.0% | 1.5% | 0.0% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 29.8% | 23.2% | 20.0% | 18.5% | 6.3% | 2.0% | 0.1% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 31.1% | 22.6% | 18.9% | 20.0% | 5.3% | 1.7% | 0.4% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 30.1% | 24.2% | 19.2% | 19.2% | 4.0% | 3.1% | 0.2% | 100% |



- ・すべての学年の保護者の約3割が読書は「知らないことがわかる」と答えた。次いで「考える力がつく」、「国語の力がつく」「楽しい」がそれぞれ約2割を占めた。
- ・「その他」では、「想像力がつく」がもっとも多かった。ほかに「感受性が豊かになる」「気分転換になる」などの回答があった。

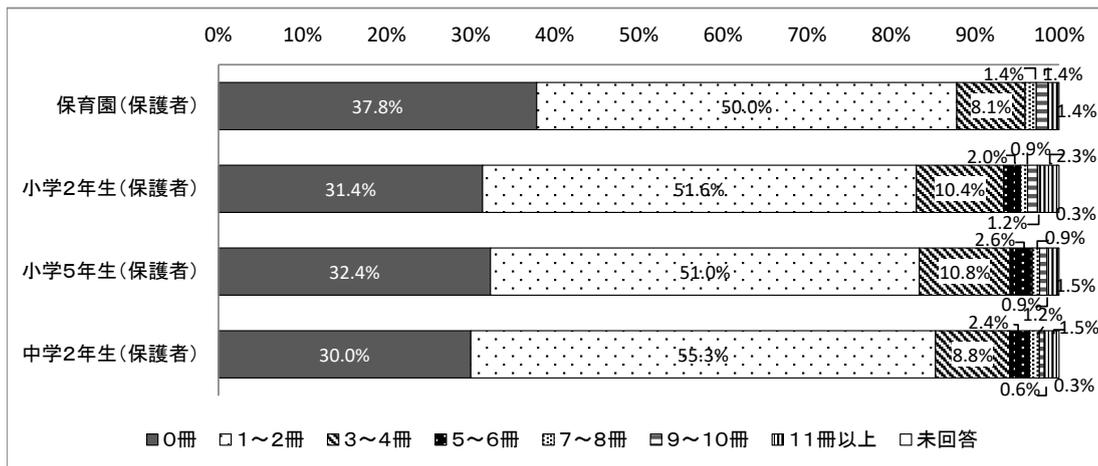
【問3】だいたい1ヶ月に何冊ぐらい本を読みますか。

(単位:人)

| | 0冊 | 1~2冊 | 3~4冊 | 5~6冊 | 7~8冊 | 9~10冊 | 11冊以上 | 未回答 | 合計 |
|------------|-----|------|------|------|------|-------|-------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 28 | 37 | 6 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 109 | 179 | 36 | 7 | 3 | 4 | 8 | 1 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 111 | 175 | 37 | 9 | 3 | 3 | 5 | 0 | 343 |
| 中学2年生(保護者) | 102 | 188 | 30 | 8 | 4 | 2 | 5 | 1 | 340 |

(単位:%)

| | 0冊 | 1~2冊 | 3~4冊 | 5~6冊 | 7~8冊 | 9~10冊 | 11冊以上 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|------|
| 保育園(保護者) | 37.8% | 50.0% | 8.1% | 0.0% | 1.4% | 1.4% | 1.4% | 0.0% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 31.4% | 51.6% | 10.4% | 2.0% | 0.9% | 1.2% | 2.3% | 0.3% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 32.4% | 51.0% | 10.8% | 2.6% | 0.9% | 0.9% | 1.5% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 30.0% | 55.3% | 8.8% | 2.4% | 1.2% | 0.6% | 1.5% | 0.3% | 100% |



- ・1冊も読まなかった割合は保育園の保護者が37.8%、小学2年生の保護者が31.4%、小学5年生の保護者が32.4%、中学2年生の保護者が30.0%となっており、約3割の保護者が本を読まない状況であった。
- ・一番多かったのは、「1冊～2冊」で保育園の保護者が50.0%、小学2年生の保護者が51.6%、小学5年生の保護者が51.0%、中学2年生の保護者が55.3%であった。

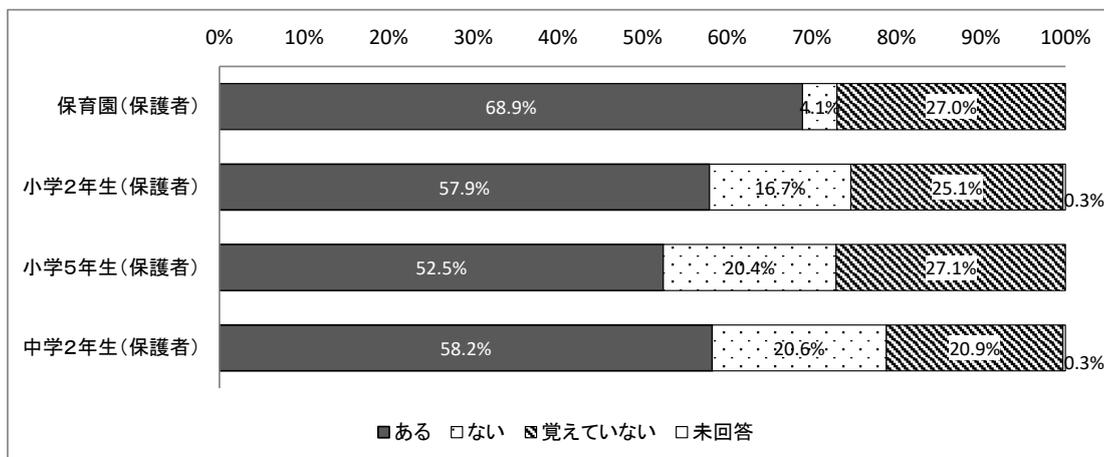
【問4】子どもの頃、本を読んでもらった経験はありますか。

(単位:人)

| | ある | ない | 覚えていない | 未回答 | 合計 |
|------------|-----|----|--------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 51 | 3 | 20 | 0 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 201 | 58 | 87 | 1 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 180 | 70 | 93 | 0 | 343 |
| 中学2年生(保護者) | 198 | 70 | 71 | 1 | 340 |

(単位:%)

| | ある | ない | 覚えていない | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|--------|------|------|
| 保育園(保護者) | 68.9% | 4.1% | 27.0% | 0.0% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 57.9% | 16.7% | 25.1% | 0.3% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 52.5% | 20.4% | 27.1% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 58.2% | 20.6% | 20.9% | 0.3% | 100% |



・読み聞かせをしてもらった経験は保育園の保護者が一番多く68.9%、次いで中学2年生の保護者が58.2%、小学2年生の保護者が57.9%、小学5年生の保護者が52.5%で全体で57%以上が子どもの頃、本を読んでもらった経験があると回答した。

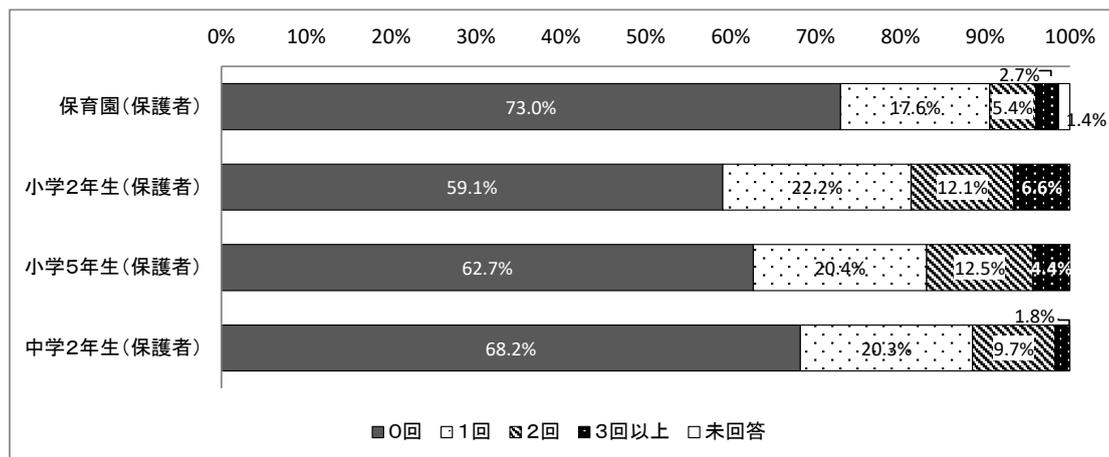
【問5】現在、我孫子市民図書館を1ヶ月にどのくらい利用しますか。

(単位:人)

| | 0回 | 1回 | 2回 | 3回以上 | 未回答 | 合計 |
|------------|-----|----|----|------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 54 | 13 | 4 | 2 | 1 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 205 | 77 | 42 | 23 | 0 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 215 | 70 | 43 | 15 | 0 | 343 |
| 中学2年生(保護者) | 232 | 69 | 33 | 6 | 0 | 340 |

(単位:%)

| | 0回 | 1回 | 2回 | 3回以上 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 73.0% | 17.6% | 5.4% | 2.7% | 1.4% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 59.1% | 22.2% | 12.1% | 6.6% | 0.0% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 62.7% | 20.4% | 12.5% | 4.4% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 68.2% | 20.3% | 9.7% | 1.8% | 0.0% | 100% |



・図書館を1か月に1度も利用しなかった割合は保育園の保護者が一番多く73.0%、次いで中学2年生の保護者が68.2%、小学5年生の保護者が62.7%、小学2年生の保護者が59.1%であった。

・図書館を利用していると答えた保護者も1か月に1回の利用が一番多く、保育園の保護者が17.6%、小学生2年生の保護者が22.2%、小学5年生の保護者が20.4%、中学2年生の保護者が20.3%であった。

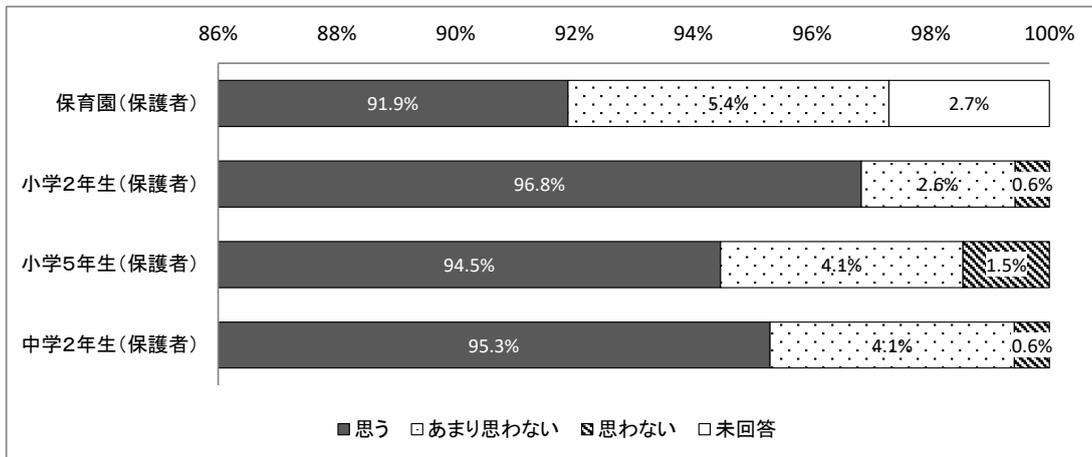
【問6】子どもがもっと本を読むようになってほしいと思いますか。

(単位:人)

| | 思う | あまり思 わない | 思わない | 未回答 | 合計 |
|------------|-----|-------------|------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 68 | 4 | 0 | 2 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 336 | 9 | 2 | 0 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 324 | 14 | 5 | 0 | 343 |
| 中学2年生(保護者) | 324 | 14 | 2 | 0 | 340 |

(単位:%)

| | 思う | あまり思 わない | 思わない | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 91.9% | 5.4% | 0.0% | 2.7% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 96.8% | 2.6% | 0.6% | 0.0% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 94.5% | 4.1% | 1.5% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 95.3% | 4.1% | 0.6% | 0.0% | 100% |



・もっと本を読んでほしいと思う割合は、小学2年生の保護者が一番多く96.8%、次いで中学2年生の保護者が95.3%、小学5年生の保護者が94.5%、保育園の保護者が91.9%でほとんどの保護者が子どもにもっと本を読んでほしいと感じている。

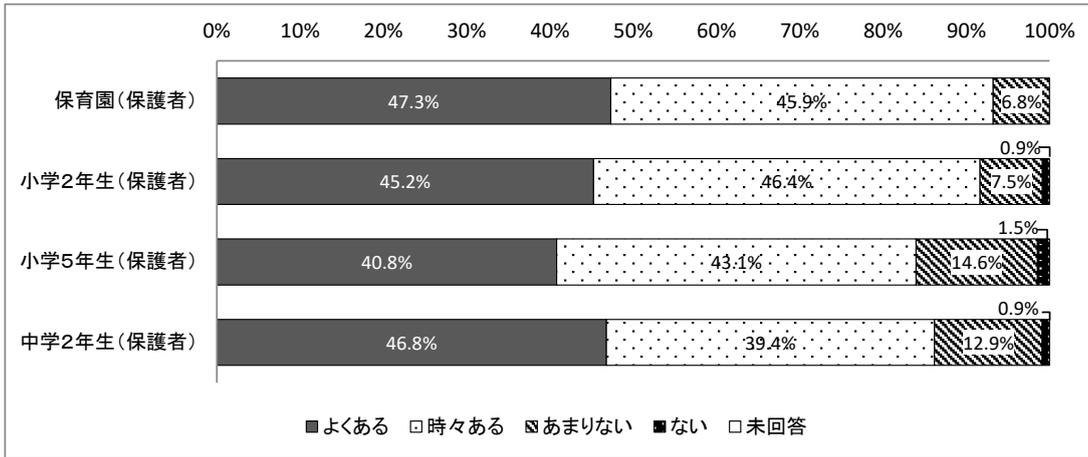
【問7】子どもに本を読んであげた経験はありますか。 ※ここで「ない」を回答は【問8】へ

(単位:人)

| | よくある | 時々ある | あまりな い | ない | 未回答 | 合計 |
|------------|------|------|-----------|----|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 35 | 34 | 5 | 0 | 0 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 157 | 161 | 26 | 3 | 0 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 140 | 148 | 50 | 5 | 0 | 343 |
| 中学2年生(保護者) | 159 | 134 | 44 | 3 | 0 | 340 |

(単位:%)

| | よくある | 時々ある | あまりな い | ない | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|-----------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 47.3% | 45.9% | 6.8% | 0.0% | 0.0% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 45.2% | 46.4% | 7.5% | 0.9% | 0.0% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 40.8% | 43.1% | 14.6% | 1.5% | 0.0% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 46.8% | 39.4% | 12.9% | 0.9% | 0.0% | 100% |



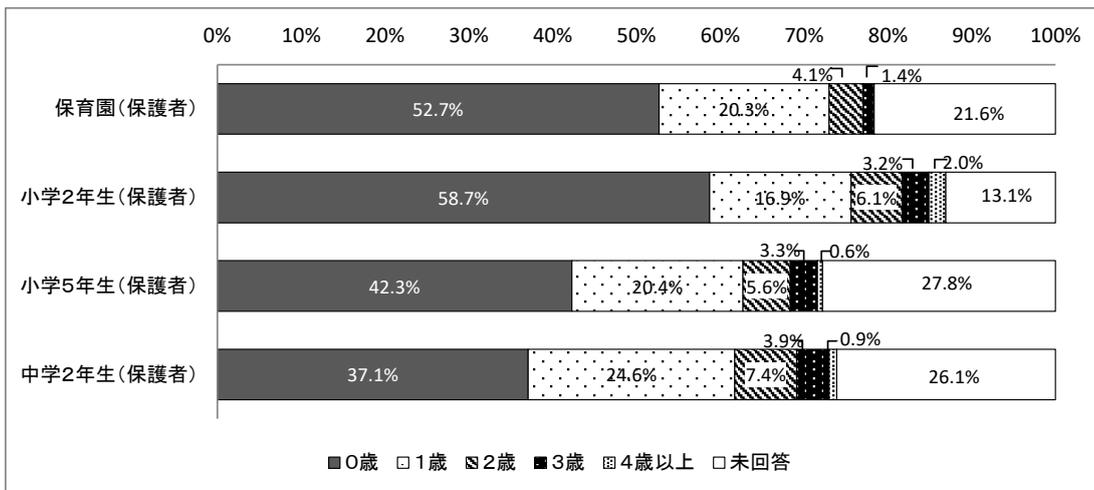
・「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合は保育園の保護者が一番多く93.2%、次いで小学2年生の保護者が91.6%、中学2年生の保護者が86.2%、小学5年生の保護者が83.9%で多くの保護者が子どもに読み聞かせをした経験があった。

【問7-2】(7でエ「ない」と回答した以外の方)初めて本を読んであげたのは何歳くらいのときですか。
(単位:人)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳以上 | 未回答 | 合計 |
|------------|-----|----|----|----|------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 39 | 15 | 3 | 1 | 0 | 16 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 202 | 58 | 21 | 11 | 7 | 45 | 344 |
| 小学5年生(保護者) | 143 | 69 | 19 | 11 | 2 | 94 | 338 |
| 中学2年生(保護者) | 125 | 83 | 25 | 13 | 3 | 88 | 337 |

(単位:%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳以上 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|------|------|------|-------|------|
| 保育園(保護者) | 52.7% | 20.3% | 4.1% | 1.4% | 0.0% | 21.6% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 58.7% | 16.9% | 6.1% | 3.2% | 2.0% | 13.1% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 42.3% | 20.4% | 5.6% | 3.3% | 0.6% | 27.8% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 37.1% | 24.6% | 7.4% | 3.9% | 0.9% | 26.1% | 100% |



- ・0歳から読み聞かせを始めた割合は保育園の保護者が52.7%、小学2年生の保護者が58.7%、小学5年生の保護者が42.3%、中学2年生の保護者が37.1%であった。
- ・また1歳までに読み聞かせを始める保護者がほとんどであった。

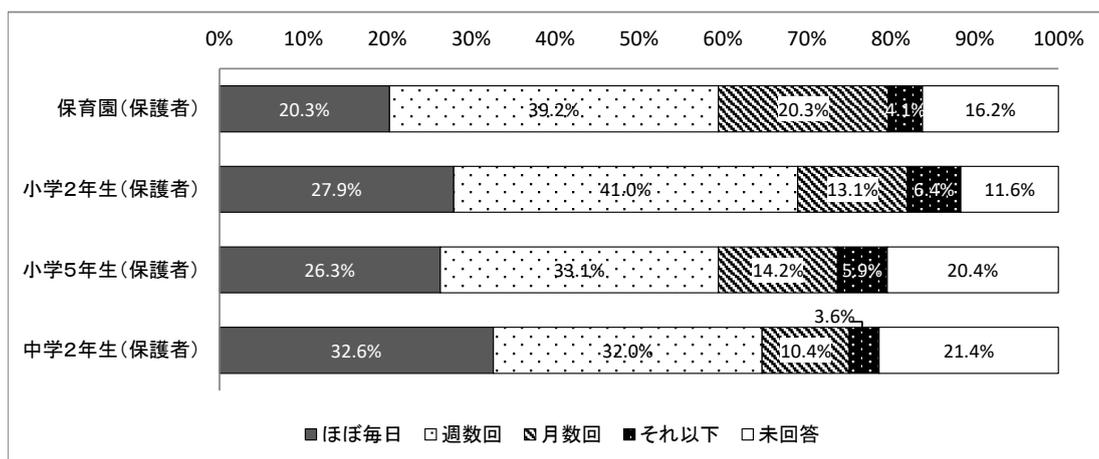
【問7-3】(7でエ「ない」と回答した以外の方)どのくらいの頻度で読み聞かせをしましたか。

(単位:人)

| | ほぼ毎日 | 週数回 | 月数回 | それ以下 | 未回答 | 合計 |
|------------|------|-----|-----|------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 15 | 29 | 15 | 3 | 12 | 74 |
| 小学2年生(保護者) | 96 | 141 | 45 | 22 | 40 | 344 |
| 小学5年生(保護者) | 89 | 112 | 48 | 20 | 69 | 338 |
| 中学2年生(保護者) | 110 | 108 | 35 | 12 | 72 | 337 |

(単位:%)

| | ほぼ毎日 | 週数回 | 月数回 | それ以下 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|-------|------|-------|------|
| 保育園(保護者) | 20.3% | 39.2% | 20.3% | 4.1% | 16.2% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 27.9% | 41.0% | 13.1% | 6.4% | 11.6% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 26.3% | 33.1% | 14.2% | 5.9% | 20.4% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 32.6% | 32.0% | 10.4% | 3.6% | 21.4% | 100% |



- ・「ほぼ毎日」と「週数回」を合わせた割合は小学2年生の保護者が一番多く68.9%、次いで中学2年生の保護者が64.6%、保育園の保護者が59.5%、小学5年生の保護者が59.4%であった。

【問7-4】(7でエ「ない」と回答した以外の方)子どもの本をどのようにして選んでいますか。(複数回答可)

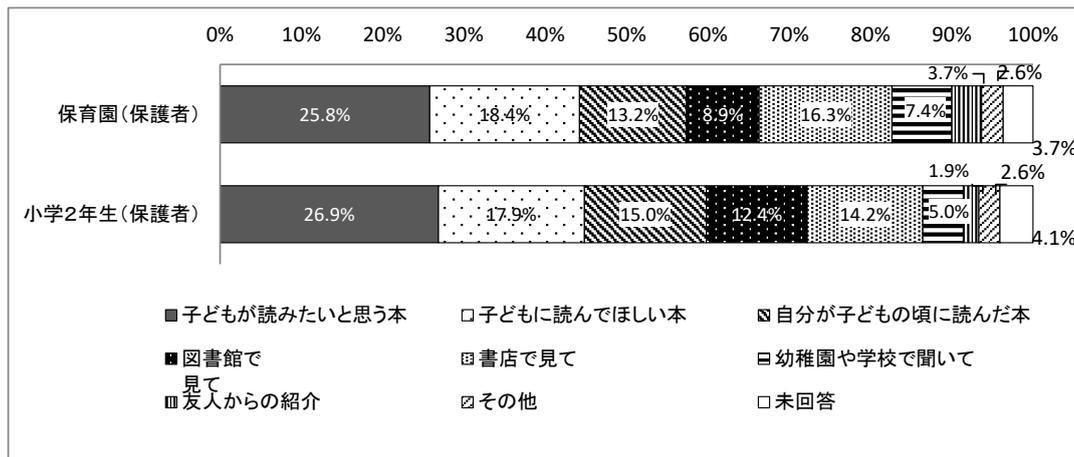
※保育園の保護者、小学2年生の保護者のみ設問

(単位:人)

| | 子どもが読みたいと思う本 | 子どもに読んでほしい本 | 自分が子どもの頃に読んだ本 | 図書館で見て | 書店で見て | 幼稚園や学校で聞いて | 友人からの紹介 | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|--------------|-------------|---------------|--------|-------|------------|---------|-----|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 49 | 35 | 25 | 17 | 31 | 14 | 7 | 5 | 7 | 190 |
| 小学2年生(保護者) | 238 | 159 | 133 | 110 | 126 | 44 | 17 | 23 | 36 | 886 |

(単位:%)

| | 子どもが読みたいと思う本 | 子どもに読んでほしい本 | 自分が子どもの頃に読んだ本 | 図書館で見て | 書店で見て | 幼稚園や学校で聞いて | 友人からの紹介 | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|--------------|-------------|---------------|--------|-------|------------|---------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 25.8% | 18.4% | 13.2% | 8.9% | 16.3% | 7.4% | 3.7% | 2.6% | 3.7% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 26.9% | 17.9% | 15.0% | 12.4% | 14.2% | 5.0% | 1.9% | 2.6% | 4.1% | 100% |



- ・保育園の保護者は割合が高い順に「子どもが読みたいと思う本」「子どもに読んでほしい本」「書店で見て」という回答であった。
- ・小学2年生の保護者は割合が高い順に「子どもが読みたいと思う本」「子どもに読んでほしい本」「自分が子どもの頃に読んだ本」という回答だった。
- ・「その他」では「定期的に購入している本」「テレビやネットのおすすめ」などの回答があった。

【問7-5】(7でエ「ない」と回答した以外の方)読み聞かせは、子育てにどのような影響か(複数回答可)

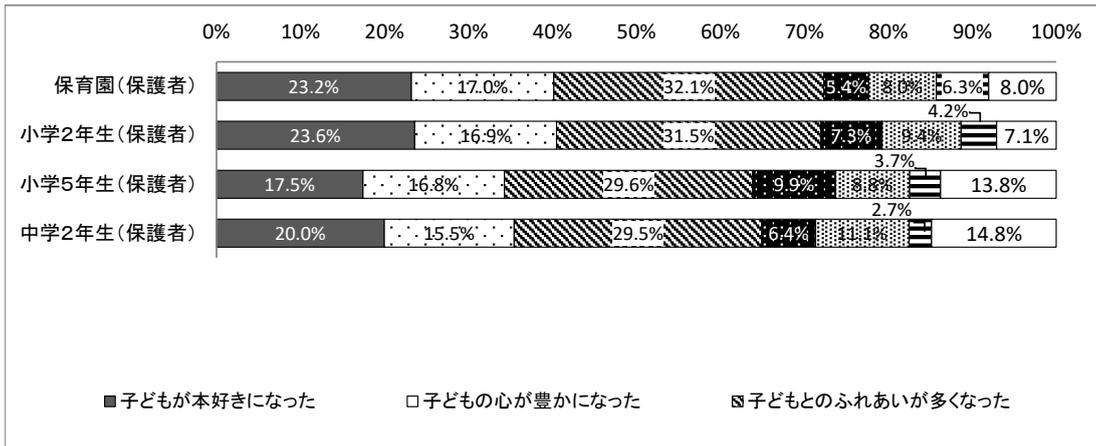
※小学5年・中学2年は問7-4が該当

(単位:人)

| | 子どもが本好きになった | 子どもの心が豊かになった | 子どもとのふれあいが多くなった | 子育てが楽しくなった | 特に影響はない | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------------|--------------|-----------------|------------|---------|-----|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 26 | 19 | 36 | 6 | 9 | 7 | 9 | 112 |
| 小学2年生(保護者) | 123 | 88 | 164 | 38 | 49 | 22 | 37 | 521 |
| 小学5年生(保護者) | 85 | 82 | 144 | 48 | 43 | 18 | 67 | 487 |
| 中学2年生(保護者) | 97 | 75 | 143 | 31 | 54 | 13 | 72 | 485 |

(単位:%)

| | 子どもが本好きになった | 子どもの心が豊かになった | 子どもとのふれあいが多くなった | 子育てが楽しくなった | 特に影響はない | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------------|--------------|-----------------|------------|---------|------|-------|------|
| 保育園(保護者) | 23.2% | 17.0% | 32.1% | 5.4% | 8.0% | 6.3% | 8.0% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 23.6% | 16.9% | 31.5% | 7.3% | 9.4% | 4.2% | 7.1% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 17.5% | 16.8% | 29.6% | 9.9% | 8.8% | 3.7% | 13.8% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 20.0% | 15.5% | 29.5% | 6.4% | 11.1% | 2.7% | 14.8% | 100% |



・どの学年の保護者も割合が高い順に「子どもとのふれあいが多くなった」「子どもが本好きになった」「子どもの心が豊かになった」という回答であった。
 ・またどの学年も「特に影響がない」と回答をした保護者が約1割いた。
 ・「その他」では「国語力・読解力がついた」「文字・言葉を覚えた」「音読が上手くなった」などの回答があった反面、「よくわからない」という回答もあった。

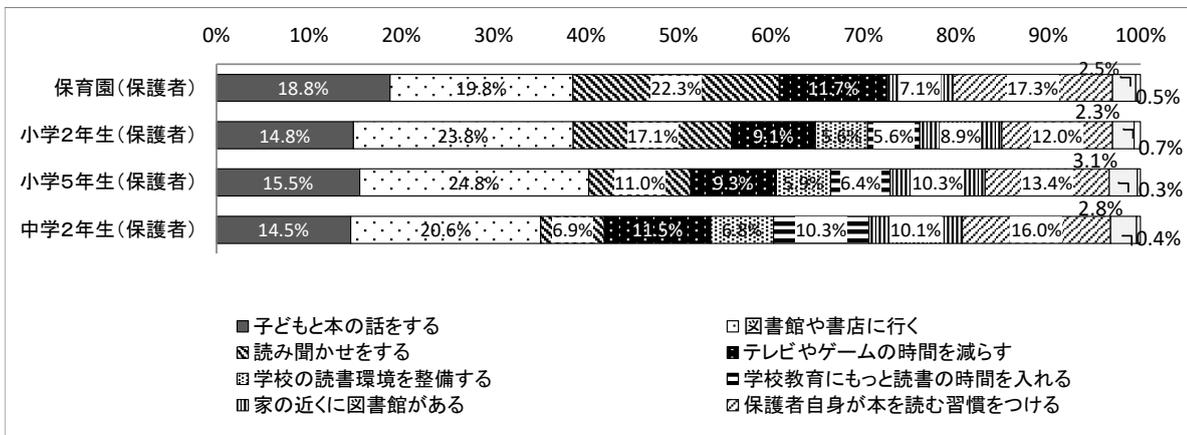
【問8】どのようにしたら子どもがもっと本を読むと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)

| | 子どもと本の話をする | 図書館や書店に行く | 読み聞かせをする | テレビやゲームの時間を減らす | 学校の読書環境を整備する | 学校教育にもっと読書の時間を入れる | 家の近くに図書館がある | 保護者自身が本を読む習慣をつける | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|------------|-----------|----------|----------------|--------------|-------------------|-------------|------------------|-----|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 37 | 39 | 44 | 23 | 56 | 56 | 14 | 34 | 5 | 1 | 197 |
| 小学2年生(保護者) | 147 | 236 | 170 | 90 | 56 | 56 | 88 | 119 | 23 | 7 | 992 |
| 小学5年生(保護者) | 142 | 227 | 101 | 85 | 54 | 59 | 94 | 123 | 28 | 3 | 916 |
| 中学2年生(保護者) | 135 | 191 | 64 | 107 | 63 | 96 | 94 | 149 | 26 | 4 | 929 |

(単位:%)

| | 子どもと本の話をする | 図書館や書店に行く | 読み聞かせをする | テレビやゲームの時間を減らす | 学校の読書環境を整備する | 学校教育にもっと読書の時間を入れる | 家の近くに図書館がある | 保護者自身が本を読む習慣をつける | その他 | 未回答 | 合計 |
|------------|------------|-----------|----------|----------------|--------------|-------------------|-------------|------------------|------|------|------|
| 保育園(保護者) | 18.8% | 19.8% | 22.3% | 11.7% | 5.6% | 5.6% | 7.1% | 17.3% | 2.5% | 0.5% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 14.8% | 23.8% | 17.1% | 9.1% | 5.6% | 5.6% | 8.9% | 12.0% | 2.3% | 0.7% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 15.5% | 24.8% | 11.0% | 9.3% | 5.9% | 6.4% | 10.3% | 13.4% | 3.1% | 0.3% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 14.5% | 20.6% | 6.9% | 11.5% | 6.8% | 10.3% | 10.1% | 16.0% | 2.8% | 0.4% | 100% |



- ・保育園の保護者は割合が高い順に「読み聞かせをする」「図書館や書店に行く」「子どもと本の話をする」であった。
- ・小学2年生の保護者は割合が高い順に「図書館や書店に行く」「読み聞かせをする」「子どもと本の話をする」であった。
- ・小学5年生の保護者は割合が高い順に「図書館や書店に行く」「子どもと本の話をする」「保護者自身が本を読む習慣をつける」であった。
- ・中学2年生の保護者は割合が高い順に「図書館や書店に行く」「保護者自身が本を読む習慣をつける」「子どもと本の話をする」であった。
- ・どの学年の保護者も「図書館や書店に行く」という回答が多かった。
- ・「その他」では「家庭の読書環境を整える」「図書館の児童書の数を増やす」「イベントをする」などの回答があった。

【問9】我孫子市民図書館が協力している学校の学級文庫を知っていますか。

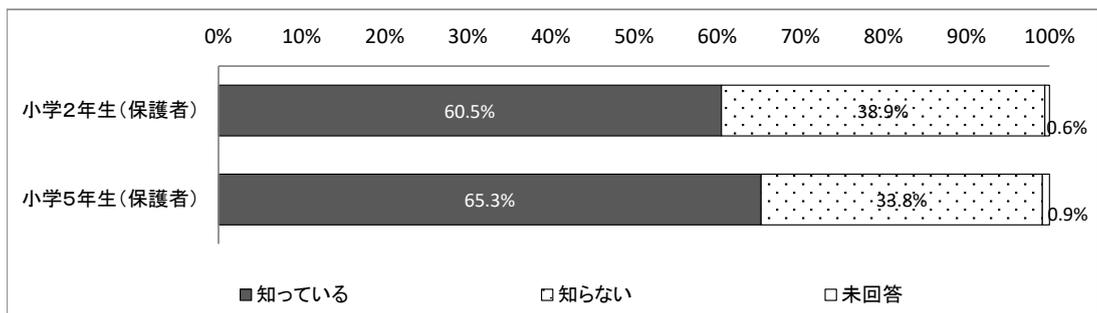
※小学2年生と小学5年生の保護者のみ設問

(単位:人)

| | 知っている | 知らない | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|------|-----|-----|
| 小学2年生(保護者) | 210 | 135 | 2 | 347 |
| 小学5年生(保護者) | 224 | 116 | 3 | 343 |

(単位:%)

| | 知っている | 知らない | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------|------|------|
| 小学2年生(保護者) | 60.5% | 38.9% | 0.6% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 65.3% | 33.8% | 0.9% | 100% |



- ・小学2年生および小学5年生の保護者ともに約6割が学級文庫を知っているとの回答だった。

【問10】我孫子市民図書館で行われているもので知っているものに○をつけてください。(複数回答可)

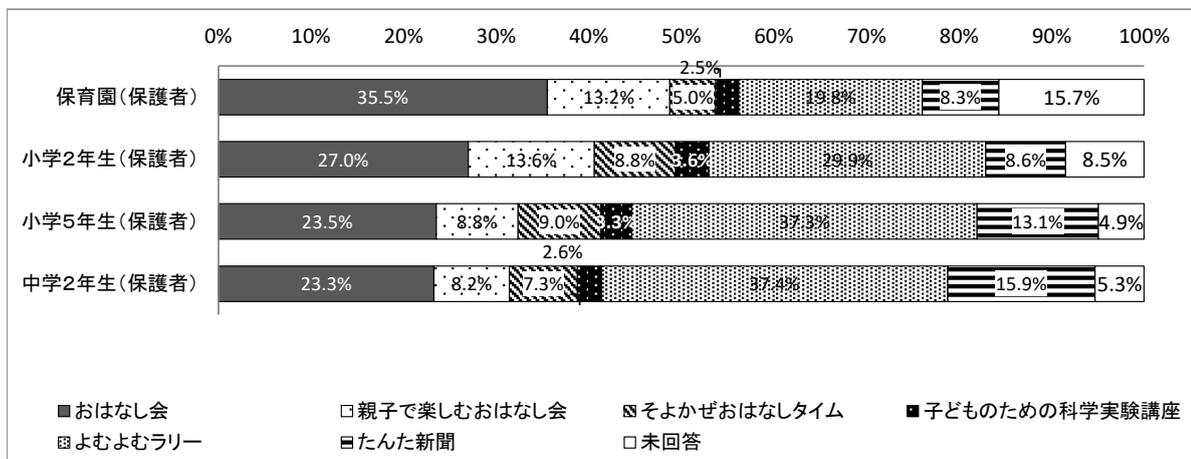
※保育園は問9が該当

(単位:人)

| | おはなし会 | 親子で楽しむおはなし会 | そよかぜおはなしタイム | 子どものための科学実験講座 | よむよむラリー | たんた新聞 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------------|-------------|---------------|---------|-------|-----|-----|
| 保育園(保護者) | 43 | 16 | 6 | 3 | 24 | 10 | 19 | 121 |
| 小学2年生(保護者) | 194 | 98 | 63 | 26 | 215 | 62 | 61 | 719 |
| 小学5年生(保護者) | 176 | 66 | 67 | 25 | 279 | 98 | 37 | 748 |
| 中学2年生(保護者) | 171 | 60 | 54 | 19 | 275 | 117 | 39 | 735 |

(単位:%)

| | おはなし会 | 親子で楽しむおはなし会 | そよかぜおはなしタイム | 子どものための科学実験講座 | よむよむラリー | たんた新聞 | 未回答 | 合計 |
|------------|-------|-------------|-------------|---------------|---------|-------|-------|------|
| 保育園(保護者) | 35.5% | 13.2% | 5.0% | 2.5% | 19.8% | 8.3% | 15.7% | 100% |
| 小学2年生(保護者) | 27.0% | 13.6% | 8.8% | 3.6% | 29.9% | 8.6% | 8.5% | 100% |
| 小学5年生(保護者) | 23.5% | 8.8% | 9.0% | 3.3% | 37.3% | 13.1% | 4.9% | 100% |
| 中学2年生(保護者) | 23.3% | 8.2% | 7.3% | 2.6% | 37.4% | 15.9% | 5.3% | 100% |



- ・保育園の保護者は割合が高い順に「おはなし会」「よむよむラリー」「親子で楽しむおはなし会」であった。
- ・小学2年生の保護者は割合が高い順に「よむよむラリー」「おはなし会」「親子で楽しむおはなし会」であった。
- ・小学5年生および中学2年生の保護者は割合が高い順に「よむよむラリー」「おはなし会」「たんた新聞」であった。
- ・「よむよむラリー」は用紙を小学生全員に配布しているため、小学生以上の保護者に認知度が高かった。

○子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月12日）

（目的）

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、

その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要領

(設置)

第1条 我孫子市子どもの読書活動推進計画を策定するため、我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 委員会の任務は、我孫子市子どもの読書活動推進計画を策定することとする。

(組織)

第3条 委員会は、生涯学習部長、図書館長及び次の表に掲げる課に属する職員をもって構成する。

| |
|--|
| 企画課、健康づくり支援課、子ども支援課、子ども相談課、保育課、学校教育課、指導課、生涯学習課 |
|--|

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する任務を終了するまでの間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長1人を置く。

2 委員長には生涯学習部長を、副委員長には図書館長をもって充てる。

3 委員長は、会務を取りまとめ、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、生涯学習部図書館において処理する。

(委任)

第8条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定める。



○我孫子市子どもの読書活動推進計画策定委員会

| | 氏名 | 所属 |
|----|--------|--------------------|
| 1 | 塚田 悠平 | 企画財政部 企画課 主査 |
| 2 | 長島 公子 | 健康福祉部 健康づくり支援課 主査長 |
| 3 | 小池 千恵 | 子ども部 子ども支援課 主査長 |
| 4 | 山口 綾子 | 子ども部 子ども相談課 主査長 |
| 5 | 飯島 雅子 | 子ども部 保育課 副園長 |
| 6 | 鈴木 伸樹 | 教育総務部 学校教育課 課長補佐 |
| 7 | 桃井 淳子 | 教育総務部 指導課 指導主事 |
| 8 | 谷次 義雄 | 生涯学習部 公民館 課長補佐 |
| 9 | 木下 登志子 | 生涯学習部 部長（委員長） |
| 10 | 櫻井 實 | 生涯学習部 図書館 館長（副委員長） |

○我孫子市民図書館資料収集方針

(目的)

第1条 この方針は、市民の現在及び将来の利用に応えることができる、より充実した蔵書構成を構築するため、我孫子市民図書館（以下「図書館」という。）における図書館資料（図書館法第3条第1号に規定する図書館資料をいう。以下「資料」という。）の収集に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 図書館は、市民が生涯にわたって学び続ける権利を保障するため、地域の特性、社会の動向及び市民の要求を十分配慮し、市民の文化、教養、調査研究、趣味、娯楽、生活等に資する資料を収集するものとする。

(収集の検討及び決定)

第3条 収集する資料の検討は、図書館職員の合議に基づいて行う。この検討を受け、教育委員会が最終的に決定する。

2 収集する資料の検討及び決定にあたっては、「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会）の精神を尊重する。

(各館別収集方針)

第4条 各館は、その施設の規模、地域性及び機能に応じた蔵書構成を図るとともに、必要に応じて収集分担を行うなど、図書館全体の体系的な資料の充実をめざし、より効率的な資料の収集に努める。

2 アビスタ本館（以下「本館」という。）は、市民の直接の利用に応えるとともに、専門的資料、参考資料、地域・行政資料その他各分館及び移動図書館のサービスを補完する資料を収集する。

3 各分館は、貸出を中心としたサービスに応じるため、蔵書の新鮮度に留意し、市民の教養、趣味、娯楽等に関する資料を中心に収集するとともに、調査研究のための基礎的資料及び入門書も収集する。

4 移動図書館は、限られた収容力のなかでの資料要求に応えるため、教養、趣味、娯楽等に関する資料を中心に、高齢者、主婦、児童を主な対象とした利用頻度の高いと思われる資料を収集する。

(収集資料の種類)

第5条 収集する資料の種類は次のとおりとする。

- (1) 図書（一般書、児童書、ティーンズ図書、参考図書、外国語資料、その他）
- (2) 逐次刊行物（新聞、雑誌、その他）
- (3) 地域・行政資料
- (4) 電子資料
- (5) 視聴覚資料
- (6) ハンディキャップサービス用資料（デージー録音図書、その他）
- (7) その他

2 技術の進歩などによる新しい形態の資料については、その普及度、利便性、継続性等を考慮し、収集対象に加えるものとする。

(資料別収集方針)

第6条 資料の種類別収集方針は、次のとおりとする。

- (1) 一般書

各分野にわたり基本的な図書を中心に、必要に応じて専門的な図書まで幅広く収集する。ただし、特殊かつ高度な専門書、学習参考書、各種試験問題集及びテキスト類は原則として収集しない。

(2) 児童書

子どもが読書の楽しみを発見することができる資料、学習や課題解決に役立つ資料等、子どもの興味や関心に応え、心の成長に必要な質の高い資料を収集する。

(3) ティーンズ図書

子どもから大人へと心身ともに変化する時期のティーンズ世代（概ね中学生から高校生）は、その時期の読書の内容も変化することを考慮し、「児童書から一般書へ」の架け橋となるよう、ティーンズ世代にとって、親しみやすく、魅力があり、必要である図書を中心に収集する。

(4) 参考図書

市民の調査研究に必要な辞書、辞典、事典、便覧、ハンドブック、図鑑、年表、年鑑、名鑑、白書、地図、統計書等幅広く収集する。

(5) 外国語資料

我孫子市在住外国人の利用や、市民の外国文化への関心等を考慮し、必要に応じて収集する。

(6) 逐次刊行物

ア 新聞

主要全国紙を中心に千葉県の代表的地方紙及び外国紙を収集し、必要に応じて専門紙や機関紙も収集する。児童・青少年向新聞は、各館で分担して収集する。縮刷版は、本館では主要全国紙及び千葉県の地方紙を、分館では必要に応じて収集する。

イ 雑誌

各分野の基本的な雑誌を幅広く収集し、偏りのないように配慮する。市民の趣味及び興味を的確に把握し、その要求を考慮した収集に努める。必要に応じて専門雑誌及び外国語雑誌も収集する。

(7) 地域・行政資料

市民が我孫子市を知り理解を深め、市の歴史を後世に伝えるために、我孫子市に関する資料を責任を持って収集する。千葉県及び近隣市町村に関する資料については、基本的資料及び我孫子市に特に関係ある資料を中心に収集する。

ア 地域資料

我孫子市の歴史、地理、自然、地域社会等に関する資料並びに我孫子市ゆかりの人々の著作及び業績を記した資料を網羅的に収集する。

イ 行政資料

市民が市政を知り、市政に参加する手掛かりとなるように、市の刊行物はすべて収集する。千葉県の刊行物は、必要とされる基本資料を収集する。

ウ まちづくり資料

市民参加のまちづくりに関する資料を幅広く収集する。

(8) 電子資料

ア CD-ROM等電磁的記録資料

必要に応じて収集する。

イ ネットワーク系電子資料

オンラインデータベース、電子書籍等のネットワーク系電子資料は、その利便性を考慮し、利用者用、職員用共に環境整備していく。

ウ インターネット

インターネット上の情報も必要に応じて活用する。利用者用、職員用共に環境整備していく。

(9) 視聴覚資料

趣味、教養及び文化活動に資するため、コンパクトディスク及びカセットテープを収集する。

映像資料（DVD等）の収集については、将来的な検討課題とする。

(10) ハンディキャップサービス用資料

通常の図書館利用に障がいのある市民を対象として、録音図書、点字図書等を収集する。

(11) その他

手賀沼周辺には多くの野鳥が生息し、鳥の博物館もあることから、アビスタ本館に「鳥に関する本のコーナー」を設置し、鳥に関する図書を積極的に収集する。

我孫子市が男女共同参画宣言都市であることから、アビスタ本館に「男女共同参画社会の本のコーナー」を設置し、男女共同参画に関する図書を積極的に収集する。

(資料の収集方法)

第7条 資料の収集は購入を原則とするが、寄贈、寄託等も活用する。その場合においても、この方針を適用する。

(資料の更新)

第8条 資料を、市民にとって常に使いやすく、新鮮で魅力あるものに保つため、除籍及び保存を的確に行い、資料の更新をはかる。

(資料についての要望)

第9条 収集資料について市民の要望・意見・批判があれば積極的に検討し、収集の参考とする。市民が購入を希望する資料については、蔵書構成、資料購入予算等を勘案し、収集方針と照らし合わせた上で購入を判断する。

(委任)

第10条 資料収集に関し、統一的処理を要するその他の事項については、図書館長が別に定める。

附則

この方針は、平成29年4月1日から適用する。

我孫子市子どもの読書活動推進計画

平成31年3月

編集・発行 我孫子市教育委員会 生涯学習部 図書館

〒 270-1147 千葉県我孫子市若松26-4

TEL. 04-7184-1110



物語の

生まれるまち

あびこ